

# 中京大学

【発行所】中京大学 校友会本部 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL.052-835-7140

# 同窓会通信

2015  
vol.33





中京大学

# 同窓会通信

2015 vol.33

C O N T E N T S

同窓会長ご挨拶 ..... 02

理事長ご挨拶 ..... 03

新学長ご挨拶 ..... 04

特集 1

時代を継ぎ、次代を拓く  
経営者たちの挑戦 ..... 05

特集 2

中京の誇りを胸に、  
世界へ羽ばたく翼。 ..... 09

母校の誇り 活躍する同窓生 ..... 13

同窓生のお店探訪  
真剣味の心をめぐる旅 ..... 17

【開学60周年記念事業】第59回文部科学大臣杯  
全国青年弁論大会 ..... 21

第17回 ホームカミングデー ..... 23

第11回 名刺交換会 ..... 25

役員紹介 ..... 27

各支部からのたより ..... 28

支部会報告 ..... 33

校友会本部からのお知らせ ..... 45



同窓会長ご挨拶

森谷 敏夫

## 次の十年へ。建学の精神と誇りを胸に 新しい一步を踏みだす勇気を

原点に戻り、母校への思いと  
確かな絆を実感

二〇一三年五月、第六代中京大学同窓会長という大役を拝命して、三年目を迎えようとしています。

振り返りますと、会長就任時のご挨拶で、「我が中京大学同窓会の益々の発展と飛躍を胸に、原点に回帰し、母校への思いと絆を更に強くしていけるよう頑張っていく所存です」と述べさせていただきました。

日々、京都大学での教育、研究に携わりながらの同窓会長で、十分に役職をまっとうできたとはいえないと思います。しかしながら名刺交換会、全国同窓会、あるいは各地区支部長会議・懇親会を通して、多くの同窓生の皆様とお会いし、直接お話しできたことで、私自身、同窓という太く、確かな絆を実感することができました。

これもひとえに校友会本部の方々、各同窓会支部長の皆様、そしてご参加くださった同窓生の皆様のおかげと思っております。

誌面をお借りして、まずは心より感謝申し上げます。

中京大学の飛躍と誇りを  
自分の「NEXT 10」に

昨年、中京大学は開学六十周年を迎え、次の十年間の更なる飛躍をめざして「NEXT 10」を始動しました。新生・中京大学の構築に向けて大きく改革、躍進を続ける母校を誇りに思っております。

十年ひと昔とも言われますが、時の流れに身をゆだね、ぬるま湯につかっているは何事も達成できません。「変化のないところに成長は無い」の言葉通り、中京大学は改革の歩みを止めることなく躍進するでしょう。

我々同窓生も卒業生として、いま一度、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を胸に熱くして、自分の人生の「NEXT 10」に生かしていこうではありませんか。

中京大学に入学して進むべき道を選び、社会で活躍しておられる同窓生の皆様、誇れる母校、中京大学の更なる飛躍とともに、皆様の今後十年間の大いなる成長と社会貢献を祈念しております。また、次の十年へ歩みだした中京大学の誇りを、我ら同窓生の誇りと絆にできればと強く願っています。



理事長ご挨拶  
梅村 清英

## 中京アイデンティティのもと 愛すべき、誇るべき母校の伝統を築く

十二万人の思いを受けとめ  
今、全力で次なる一手につなぐ

母校教育をカリキュラムに  
めざすのは、建学の精神への回帰

卒業生十二万人、中京大学の同窓会のみならずには、日頃の本学の教育、研究活動に対するご支援、ご協力で厚くお礼申し上げます。理事長に就任してから一年余となりました。ホームカミングデー、あるいは全国各地での支部同窓会などで、みなさまの本学に寄せる熱い思いをひしひしと感じてまいりました。それにとたえるべく、今後も全力を尽くします。各地の同窓会で感じたことは、歴史を刻んだ結果としての高齢化です。愛知県を中心とした地元の大学としての地位を固めるのに比べて、地方対策が課題となってきました。世代交代など手を打つべきとの思いを強くしています。

ところで今年は、その法学部と同じく、文学部も学部開設五十周年に向けて組織立ち上げを目指しているそうです。さらに、職種の別の同窓会についても、愛知県職員を中心とした公務員部会が今年中に誕生するめどが立ったと聞いています。これらを確固たるものとするために取り組んでいるのが、長期計画「NEXT10」での自校教育の浸透です。「愛すべき、誇るべき母校」であり続けるためには本学への理解を深めてもらわなくてはなりません。早ければ二〇一六年度にも、教育課程に自校教育科目を開設すべく準備を進めています。「大学の評価は卒業生の社会貢献で決まる」と言います。同窓会のみならずのこれまでのご活躍が、今日の本学の地位確立と同一です。建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」の具現化に向けて、引き続き、ご支援、ご協力をたまわりますようお願いいたします。



新学長ご挨拶  
安村 仁志

# 巣立ち、いつでも回帰できる よき学び舎として順風を吹かせたい

## 進取の気風を帆に たえず前進する大学として

中京大学は昨年開学六十周年を迎えて、新たな躍進を目指して歩みだしました。

これからの十年を見据えた長期計画「NEXT10」が策定され、実行に移されつつあります。そのサブタイトルに「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」とあるように、本学には進取の気風で時代を先取りし、果敢に挑戦してきた伝統があります。

心理学部は単独の学部としては国内初、国際教養学部も国内二番目の開設というように、他大学に先駆ける形で、数々の学部新設や改組をしてきました。キャンパス整備にも精力的に取り組み、名古屋キャンパスの図書館では蔵書の取り出しが自動化されているほか、学生が自由に議論しながら勉強できるスペース（ラーニング・スクウェア）も設けられました。広大な豊田キャンパスには、アイスアリーナや数々の運動施設が充実しています。

「NEXT10」は教育、研究、社会連携、国際化、卒業生連携を五つの柱に掲げ、具体策を進めるため教育構想会議、研究振興委員会、国際化推進委員会などが立ち上がります。

## 自信となり、活力のもととなる 学びの原点であり続けるために

大学は今学んでいる学生たちだけでなく、卒業生の皆さんのものでもあります。中京大学で学んだことに自信と誇りを持って、堂々と振る舞い、活躍される皆さんが「今」を支えてくださっています。《ALL CHUKYO》を掲げ、さらによき学び舎としていきたいと思えます。

今求められている、自主性に富み、自分でしっかりとした考えを持ち行動していける人間を育てていくということを、「大学の主人公である学生を大切にしていく」を基に据えながら進めてまいります。甘やかすということではなく、学生が真に力を備えて巣立っていくために、ということにおいてです。それは中京大学が求めてきたことに合致しています。

母校は「母港」でもあります。各地に Outreach、それぞれの地で生活されている皆さんがいつでも戻ってこれるところです。「母校意識」を共有し、エールを送っていただくことで、大学と同窓生、同窓生同士の連携も深まっていくと信じます。手を携え、より立派な大学にしてまいります。よろしくお願いたします。

# 時代を継ぎ、次代を拓く 経営者たちの挑戦

## 創業者もまだ見ぬ、 新たな地平を目指して

日本のスキーリゾートを牽引する三人の若き経営者、

そして学園理事長を迎え、中京大学青木湖セミナーハウスで

二〇一四年九月に座談会が行われました。それぞれ先代、先々代と、

脈々と続いてきた家業を継ぐ立場ですが、敷かれたレールは道にあらず。

真の後継者とは、すなわち変革への挑戦者のことかもしれません。



ng the Next Generation

過去の延長線上ではなく、  
チャレンジジャーとして

北川 丸山さん、岡山さんは私が部長を務めていたスキー競技部のOB、またかつて論文を書く際、ご協力いただいた縁で森さんともおつきあいが始まったわけですが、今日は「野沢」「白馬」「赤倉」と日本の代表的なスキーリゾートを牽引する若手の皆さんにお集まりいただきました。梅村理事長を含めた共通項と致しましては皆さん経営者であり、ともに代々続く家業の担い手であります。後継ぎとしての心意気、あるいはご苦労などもあるでしょう。そうしたことも含め、大いにお話しただけだと存じます。ではまずは理事長、業種は違えど、家業を継いで頑張る点では同じなのかと思えます。

中京大学 学長 北川 薫



梅村 そうですね。平成二十五年に理事長に就任しましたが、四十代で理事長になろうとは予想もしていませんでした。ただ、「いずれば」という覚悟があったのも事実です。学園創立九十周年、大学開学六十周年といった大きな節目に、長期計画NEXT10の策定に関わるなどのご縁もいただきました。この巡りあわせを大切に、NEXT10の下、新生・中京大学を築いていきたいと精進しているところです。

北川 トヨタ自動車もそうですが、創業者の求心力というのは、心強く感じるものです。「なあなあ」に陥りがちな面もありますが、受け継いだ事業の発展に一番情熱を燃やすのは、跡取り、後継ぎです。周りの信用度が、他とは格段に違う。それをいちだんと感じています。

森 自身はそういうものを継ぐという意識より、野沢温泉に生まれ、野沢温泉とともに、といった流れでこの世界に入りましたので、とくに違和感や葛藤などはなかったですね。

丸山 私は高校生の頃から継がなければいけないだろうな、という空気を感じていましたが、父が他界し、大学を卒業後すぐに自分の旅館に入らざるをえなかった感じでした。当時はいかにエージェントからお客様を

引つ張ってくるか。お客様相手というより、正直、代理店の方だけを向いて商売をしていた時代で、それにすぐく違和感を覚ええましたね。もう十年以上経ちますが、その頃の想いが、従来ものを少しずつ変えていこうという原動力になっています。

岡山 当館は昨年、中京大学と同じ六十周年という節目を迎えましたが、祖父の代に始まり、父が町長を務めた時期もありましたので、たぶん、そこは抜けているというか、二代目は旅館業をほぼやっていないと思います（笑）。それに私が気づいて、ちゃんとした旅館にしようとして直しを図っているところです。

梅村 いえいえ。でもそのお父さんが頑張っていたら、祖母のすみ子先生に連れられてお世話になったことがあります。小学生の頃でしたが、食事がとてもおいしかった記憶がありますよ。

北川 この前、料理がうまいなあと思つたら、岡山さんが板前を務めておられるそうです。三館とも部屋はきれいで、料理はうまい、温泉もある。有名なスキーリゾートにあつて、これほど三拍子揃った宿は少ないでしょう。いわゆる「スキー宿」に安住しない、旅館のあるべき姿を果敢に追求されておられると思いますよ。

年々、衰退傾向にある  
日本のスキー界

北川 さて、一方で皆さんはスキーの名手であり、スキー業界の発展にも尽力しておられますが。

森 いまは野沢スキークラブの理事長、県のスキー連盟ではアルペン部長として国体の監督を務めています。野沢温泉ではこれまで多くのオリンピック選手を輩出してきましたが、人口四千人足らずの村で、今回はオリンピックに誰も出場しないという、「スキークラブは何をやっているんだ」という話になる。ただ競技人口自体減っており、少子化もありますが、家庭でスキーにかけるお金がないというのが大きな理由です。ですから競技だけに目を向けるのではなく、もっと別なところから新しい流れを作っていくかなければ、日本のスキー界は頭打ちでしょうね。

丸山 私の役目は、スキー連盟などで一般のスキーヤーがより早く上達する方法を教育することや、あるいはスキーの楽しさを伝える普及活動であつたり、遠ざかつていたスキー客をよびもどすためのマーケティングであつたり。森さんとも融合してやらなければいけない立場ですが、まだその段階まで達していないのが現状です。



梅村学園 理事長 梅村 清英

### 時代の空気を読み、察知する

**岡山** 野沢や白馬に比べて赤倉は、いろいろ立ち遅れているかもしれません。そもそもスキーで発展した土地ではありませんが、地元の人たちのスキー離れが加速している。スキーのお客様を迎えても、その面白さを伝えられない人が増えているんです。

**北川** 野沢、白馬、赤倉は中部地方では核となるスキー場ですし、競技にしろ、設備にしろ、人を集める工夫が欲しいところかもしれませんね。

**岡山** かつてのスキーブームを牽引した、出会いやワクワク感、そういったアタススキーの楽しさを取り戻したいと思っていますのが。

**梅村** その世代が親になり、いまは

子連れでスキー場へ出かけるようになったと聞いたことがあります。

**丸山** たしかに「私をスキーに連れてって」という世代の方も増えていますが、十九歳をリフト無料にするなど、いまは全国的に若い世代を取り込もうとしているところですよ。

**岡山** ただ学生さんも若い女性もギリギリの予算で来ていますので、食事をすませたら、買ってきたお酒を部屋で飲んで過ごすのが主流で、アフタースキーの楽しみ方をまるで知らないんですよ。

**梅村** 私がゼミで指導していた頃、彼らは携帯電話にはお金を平気で使うけれど、飲み会の三千元は高いと文句が出るんです。よく「内向き」といわれますが、我々の頃と比べて、いまの学生はまわりを楽しんだり、グループの外に出たがろうとしない。そんなこともあるかもしれませんね。

**丸山** ええ。それと最近、目立って増えているのが外国人のお客様です。彼らのスタイルとしては、たとえば白馬に四、五泊したあとに野沢や妙高でも滑り、その後は京都や東京で一週間ずつ過ごして合計一ヶ月のバカンスを楽しんで帰るわけです。

**北川** ほう。私たち夫婦で一泊二日の旅行を年に二回していて、かなり贅沢に思っていましたけれどね(笑)。

### 日本の観光を変える、次のアクションへ

**森** じつはいま、海外からすれば日本はスキーリゾートとして格安で遊べる国なんです。リフト券だけでも欧米では一万円を超える国が大半ですが、たとえば野沢では一日四八〇〇円です。とくに物価高のオーストラリアからすれば、一週間滞在するなら飛行機代を払っても十分楽しめる。野沢温泉では、海外からのお客様の平均が五三泊ですよ。白馬も同じくらいですよ。

**丸山** ええ。

**岡山** 赤倉もそうです。  
**森** これに対して、日本人の観光目的の旅行は年間二三五泊です。一年でたった二泊しかしない。つくづく日本人はお金を使えないし、休みも取れないんだな、と感じます。

**梅村** 結局、「何のために働くのか？」というところから考えると、もともと余暇を楽しむために働くというのが欧米人のスタイルですよ。同様に、日本人が余暇を楽しむため働いているかという決してそうではない。まとまった休みが取れると、かえって困ってしまう人が多いのでは。

**森** そうなんです。でも他の国の人たちがこんなに休み、レジャーにお金

を使っているのに、なぜ日本人にそれができないのか。経営者として、一つの宿を盛り上げる努力も大切ですが、まず魅力ある地域をつくっていくことと同時に、日本全体の観光の姿を変えていくことも考えなければなりません。

**岡山** 結局、我々の商売はまず「地域」というフィルターにかけられてお客様に選ばれますからね。仕事の半分以上、いや八割はまちづくりやエネルギーを注いでいかないと。

**丸山** 私たちもこれまで共同でプロモーション展開などもしてきましたが、他の地域にお客様が来てもらいましいという感覚ではないですよ。むしろ各地域が一緒になってアクションを起こさなきゃだと思っています。

**森** 地方創生の手段として、都会に集中するお金や人を全国津々浦々まで行き渡らせるのは、やっぱり「観光」ですよ。それがスキーに向かえば、競技も活性化するでしょうし。そこを連携して政策に訴えることも我々の役目ですし、八割の時間を取られても、誰かが頑張らないと。

**北川** いや旅館業といえ、世間的には女将で成り立つといわれますが、正直、見直しましたね。またそうした方々がスキー競技部を根こにしてつながっているのは誇らしい限りです。

## 培われた絆は太く、 かけがえのないあの頃

**北川** ところで丸山さんは経済学部のご出身ですが、理事長は彼のことを憶えていらつしゃいますか。

**梅村** よく憶えていますよ。私は必修科目を受け持っていましたので、幸か不幸か、彼は担当教員を選ぶことができなかったわけですが(笑)。

**丸山** いえいえ、それはもう光栄に感じておりました(笑)。

**梅村** いつも期末試験の頃になると、試合や遠征が重なって追試を受けていましたよね。印象的だったのが、彼は非常に優秀で毎回ほぼパーフェクトだったと思います。答案用紙に「頼むから単位をください」としか書いていない学生もいましたが。

**北川** そういう話なら、私もこの場

で言いたいことはありますが…。  
**岡山** いえ、そこはもう時効というところで勘弁してください(笑)。

**丸山** あの頃は、授業が終わると豊田キャンパスに直行してトレーニングに駆けつける毎日でしたから、最初は体育学部の学生がうらやましくて仕方なかったですね。それが二年生になると、今度は学部の友人たちとのつきあひも楽しくなつて、名古屋キャンパスで過ごす時間が僕にとってかけがえのないものになった。学部の仲間はそれぞれ違う道に進みましたが、いまでも情報交換をしたりして仲がいい。絆は太いです。

**北川** 卒業生十二万人のうち八万人と連絡がつく。そうしたネットワークを四十年以上も前から培ってきた伝統と申しますか、そこは中京大学のすごいところだと思いますね。

## 卒業してからこそ生きてくる 真剣味の精神

**岡山** 学生時代は関心が薄かったのですが、真剣味の大切さを痛感しています。やはり自営業ですので、正直、手を抜いても誰にも叱られない。ですが真剣に取り組めば満足度も違いますし、地域にも波及する。そんなことに最近ようやく気づきました。

**梅村** うれしいことです。よく卒業して何年か経つて、「学生時代にもっとやっておけば良かった」などと思うことがあります。そう気づいたときに、また新しい自分を積み重ねていけばいいわけです。そんなふうな校訓を胸に、日々、頑張つておられる卒業生の存在こそ、大学の財産ではないかと思えます。  
また私自身、後を継ぐという道中

ではじつは挫折もありました。しかし北川学長を中心に、いろいろな方に支えられ、ご協力いただいたいて、学園経営が成り立っていると感じています。そんなことを肝に銘じ頑張りたいと思いますし、同じ経営者としてぜひ走り続けていきましょう。

### 写真上から

**丸山 智彦さん**  
山の郷ホテル「白馬ひふみ」経営者。1998年度経済学部卒。スキー連盟や旅館組合などの若きリーダーとして、業界の活性化に邁進中。

**岡山 慎太郎さん**  
新赤倉温泉「旅館おかやま」経営者。1999年度体育学部卒。40年以上も前から、中京大学スキー実習の宿泊先であり、お世話になった同窓生は数知れず。

**森 晃さん**  
野沢温泉「旅館さかや」経営者。1992年米コラド・マウンテン・カレッジ卒。弟・敏さんはノルディック複合の元オリンピック選手で中京大OB。

SPECIAL  
EDITION

2

中京の誇りを胸に、

世界へ羽ばたく翼。



母校の真剣味を胸にきざんで、

おさまりきらない好奇心と

情熱を原動力に、

いま、志高き校友たちが

その活躍のフィールドを世界という

大きな舞台へ広げています。

# 西原 東熙

二〇〇五年度経営学部経営学科卒

## 単身ベトナムに渡り ホテルの経営者へ

実家が自営業だったこともあり、将来は起業したいと考えていました。大学を卒業後、ロサンゼルスへ行き、フリー情報誌の広告営業をして働き始めたのはそんな理由からです。

現地での会社勤めは三年間と

決めていましたので、二十七歳の時、新天地を求めてブラジルや東南アジア各国をまわり、たどり着いたのがベトナムでした。

ホーチミンには日本人を対象としたビジネスが多く、そこに活路を見いだせる気がして、現地のフリー情報誌に「無給でいいから」と頼み込み、広告営業とし



2011年7月、ベトナム・ホーチミン市内に日本人向けのビジネスホテル「東屋」第1号店をオープン。さらにハノイやダナンにもチェーン展開し、現在7館目となるホテルが誕生予定である。



て研修させてもらいました。

ホテル経営の話が舞い込んできたのは、二ヶ月が過ぎようとしていた頃です。日本人ビジネスマンの多い地区で、サービスに特化したホテルをつくりたい、そんな思いをめぐらせていた絶好のタイミングでした。やがて東屋ホテル第一号店が誕生したのは、渡越三ヶ月目のことです。

## 母校で磨き抜かれた 強さとリーダーの資質

開業して三ヶ月はトラブル続きでしたが、とりわけ苦労に感じなかったのは、周りの人々やベトナム人スタッフの支えがあったからでしょう。

また高校時代は選手、大学時代は学生コーチとして母校の野球部に従事してきましたが、厳しい環境で自分を磨いてきたことで、どんな局面も乗り越えられる強さが身につきました。ビジネスも野球と同じ、適材適所に配置し、ゴールを明確にして、チーム全員でその達成に向かう。

そんなリーダーとしての多くも学んだ気がします。

経営者としていちばん目

指しているのは、従業員の物心両面の幸せの追求です。従業員が満足して働ける環境こそ、お客様の満足につながるものと日々のマネジメントを心がけています。

昨今、日本は元気がないと言われていますが、私たち一人ひとりの頑張りが活気をつくと信じています。諸先輩方に負けぬよう、異国の地でさらに自分を磨いて日本を活気づけていきたいと思えます。

1号店は眺望の名所「サイゴン・スカイデッキ」に近く、ホーチミンを訪れる観光客の利用も。



## 「東屋」のこだわり

日本人ビジネスマンをターゲットに、ゆったりくつろげる露天風呂とボリュームたっぷりの和朝食、さらにお客様の満足感を追求した上質なサービスの提供が東屋のモットー。



昨年9月にオープンした「東屋ダナン」の露天風呂からは、雄大なパノラマが一望できる。



# 中村 明彦

2012年度 体育学部体育科学科卒

# 松田 丈志

2006年度 体育学部体育科学科卒

# 伊藤 健太

2012年度 体育学部体育科学科卒



中村 明彦選手 写真提供:共同通信社



松田 丈志選手 写真提供:中日新聞社

## アジアの強豪たちを抑え 金・銅メダルを獲得

二〇一四年九月十九日から十月四日までの十六日間にわたり、韓国・仁川にて「第十七回アジア競技大会」が開催されました。日本選手団は全三十八競技に七百十二名が参加、本学卒業生三名も出場し、みごと全員がメダルを獲得しました。

まずは大会第四日、競泳男子八百メートルリレーに松田丈志選手(セガサミーホールディングス所属)が登場。小堀勇氣選手、萩野公介選手、瀬戸大也選手と順調につなぎ、アンカーを務めた松田選手も貫録の泳ぎを見せ、二位の中国に大差をつけて圧勝。大会新記録(七分六秒七四)で金メダルに輝き、日本

チームを大いに盛り上げました。第五日の競泳男子五十メートル自由形には、伊藤健太選手(体育学研究科二年・ミキハウス所属)が二十二秒一六の好タイムで三位に入賞。銅メダルを獲得する活躍ぶりでした。



伊藤 健太選手 写真提供:中日新聞社

## アスリートの王様の称号も もはや射程圏内に

大会第十三日には陸上の十種競技が行われ、中村明彦選手(スズキ浜松AAC所属)が登場。

金メダリストには、キング・オブ・アスリート(アスリートの王様)の称号も与えられるこの超人的な種目で、初日の五種目を終え、第二位につけた中村選手でしたが、苦手を投てきがたたり、一時五位まで転落。しかし最後の千五百メートルで二位以下を大きく引き離す力走を見せ、総合成績第三位にいい込み銅メダルを獲得しました。

リオデジャネイロ大会まであと二年足らず。若い彼らの活躍にますます期待が膨らみます。

# 佐藤 圭太

2013年度 体育学部健康科学科卒



写真提供:エクスワン

## すべて大会新記録で「三冠」を達成

アジア大会後の十月十八日から二十四日まで、同じく韓国・仁川で七日間にわたり開催された「二〇一四アジアパラ競技大会」。

参加した日本代表選手二百八十五名の一員として、陸上競技短距離種目の佐藤圭太選手（中京大学職員）が、計三個の金メダルをすべて大会新記録で獲得するという偉業を成し遂げました。

佐藤選手は、大会第五日に行われた男子二百メートル決勝を二十四秒一五で制し、シーズンベストの走り

で前広州大会から二連覇を達成。さらに第六日の百メートルで十二秒一〇を記録し二つ目の金メダルに輝くと、四百メートルリレーでは第二走者を務め、四十五秒一二の日本

タイ記録で優勝。みごと三つ目のメダルを獲得しました。

大会後、佐藤選手は「出場した三種目で優勝できた

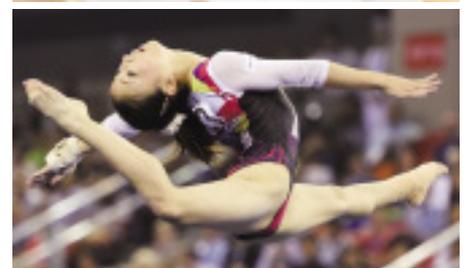
のは大きな自信につながった」とし、「今後はリオデジャネイロ、東京オリンピックを目指していきたい」と決意を語りました。

また、まだまだ知名度の低いパラリンピックに対し、「もっと多くの人に興味を持ってもらえるよう有名になり、皆さんに応援していただけるようになりたい」とのこと。同窓生の皆様方の応援をぜひとも期待したいところです。

## 世界の大会で活躍する体操女子のエースに成長

二〇一四年十月三日から十二日まで、中国・南寧で開催された「第四十五回世界体操競技選手権大会」に寺本明日香選手が出場しました。

大会第六日、決勝に進出した八チームが四種目（二種目三名が出場）の合計得点で競い合うルーの団体戦で、寺本選手は日本チームで最多の三種目に登場し



写真提供:共同通信社

かしエースとしての重圧に加え、チームも波に乗れず、女子団体戦は八位にとどまりました。

一方、個人戦では最終日、女子でただ一人、寺本選手が種目別（平均台）決勝に進出。落下はしたものの、それをカバーするみことな演技で締めくくり、四位に入賞。表彰台にはわずか〇・〇六六点及ばす悔しい結果となりましたが、日本女子を代表する実力を見せてくれました。

# 寺本明日香

スポーツ科学部競技スポーツ科学科一年生

世界体操 | 中国・南寧 |



# 母 校 の 誇 り

Person

01

## 播磨 純代さん

(1965年度 体育学部体育学科卒)

### Profile

陸上競技部に所属し、全日本インカレの400mリレーでは2位。専門種目を持った体育教師になれるよう、勉強と競技を両立させ、卒業式では総代として賞状を受け取った。「やりかけたことは最後まで続ける」がモットー。



### 陸上二筋に五十九年 栄えある秩父宮章を受章

日本体育協会公認スポーツ指導者として二〇二〇年に表彰いただき、また、日本陸上競技連盟より、一九九〇年に平沼記念章、二〇一三年に秩父宮章を受章しました。大変名誉なことですが、練習の成果が記録としてはつきり出る、そんなやりがいのある陸上競技に魅せられて競者、マネージャー、監督と、さまざまな立場で五十九年間続けてきただけのこと。指導する子どもたちが自己新記録を出したときの嬉しそうな顔、協会役員としては強い選

手が出たときなど、この喜びを味わい、日々続けることができました。

大学卒業後に高校教師となり、地元徳島の高校で選手育成に関わってきました。定年を迎えてからは協会の仕事と陸上教室で小・中学生の指導、徳島駅伝では記録センタ―所長を務めて十三年になりました。ランナーを思えば一秒の間違いも許されない仕事だけに、自然と気持ちも引き締まります。

競技者としては一時、マスターズ陸上に情熱を燃やした頃もありましたが、六十歳のとき心臓にペースメーカーを埋め込んで以来、ウォーキングに切り替えました。

### 恩師や仲間たちに恵まれ 成長できた学生時代

学生時代は「全日本インカレ総合優勝」という大きな目標を掲げ、部の合宿では練習メニューや食事づくり、すべて自分たちでこなしながら目標を達成！ チームワークを重んじ、仲間を大切にすることで自身も成長できました。

その当時は創立から年月も浅い大学でしたので、とても家庭的で、とくに陸上競技部女子の監督は梅村すみ子先生だったこともあり特別でした。下宿で自炊していた私を

自宅に呼び、食事をご馳走して下さったこともあります。そんなアットホームな環境に恵まれ、選手、マネージャー、卒業後は一年間、母校の監督をさせていただいた経験が後の教員生活に生かされたかと改めて感謝しています。

今やスポーツに限らず、中央大学の活躍が報じられるのは嬉しいですし、とても誇らしいです。

これから先、ますます発展する母校の名に恥じないよう、私自身、陸上競技が大好きな子どもが一人でも増え、さらにはその中から県、四国、日本、世界で活躍する競技者が出てくれることを楽しみに、今後とも陸上競技界の発展に貢献できたらと思っております。



昭和40年、全日本インカレで2連覇！ご自身は前列左から3番目。

## 》活躍する同窓生

母校で学び、経験した4年間を原点に、自分のスタイルをつくり出し、各界の第一線で本学の卒業生たちが活躍しています。それぞれ建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を心の糧に、あらゆる困難を乗り越え、すばらしい功績を残された同窓生の思いに触れ、励まされる方々も多いのではないのでしょうか。

Person

02

### 西村 稔さん

(1965年度 体育学部健康教育学科卒)

#### Profile

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟の専務理事として世界中を飛び回る。「継続は力なり」をモットーに、青少年の育成に約40年。2003年に文部科学大臣賞、2004年に藍綬褒章、2012年には韓国無窮花金章を受章。



#### 次代を背負う 青少年の育成をサポート

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟専務理事として、二〇一五年夏、日本で四十四年ぶりに開催される「第二十三回世界スカウトジャンボリー」の実行委員長として、現在、国内外を奔走中です。

大会は世界一六〇ヶ国から約三万人が参加、十二日間にわたり各国の将来を背負う青少年が集い、交流を深めるもので、政府や経済界からもご支援いただいています。

また、約一〇〇ヶ国の国会議員で組織する「世界スカウト振興国会議

員連合」の事務総長も務めています。次代を背負う青少年の育成を目指すボーイスカウトを、どこも国を挙げて支援しています。

最近、「自発的」という言葉を聞きませんが、野外活動では自分がやらなないと誰も動かない。そんな立場に追い込まないと、なかなか今の子どもたちは動きません。そうした意味でも自ら動く環境に身を置けるボーイスカウトの活動は意義深いように思います。

#### 最後まであきらめない 粘り強さは母校のDNA

大学を卒業後、同級生の多くは教職につきました。私も高校に勤めましたが、社会に役立つ青少年を育てたいという想いが強く、指導者として奉仕する道に方向転換。以後約四十年、地域奉仕に始まり国内、世界へと活動の範囲を拡げながら今日に至っています。

ボーイスカウトは世界二〇〇余りの国と地域で約四千万人が加入する組織であり、世界のどこかで開かれる会議やキャンプに参加するため、月に三度、海外へ足を運ぶことがあります。ある途上国のキャンプでは救急車のお世話になったこともありましたが、異文化コミュニケーションを図るには、語学力よ

り思いやる心と健康が大切だと感じました。

実は今度の世界大会は、当初三十五億円という経費のうち十五億円が不足する厳しい状況でしたが、実行委員長として粘り強く駆けずり回り、どうにかメドが立ったところです。リーマンショックや政権交代、東日本大震災と経済環境の激変にもあきらめなかったのは、母校の真剣味のおかげ。きっと建学の精神がDNAとして体内に植え付けられているのでしょう。

中京大学ボーイスカウトも活躍していますが、大会を成功させるため、奉仕してやろうという同窓生の方がおられましたら、ぜひご支援をお願いします。



左から順に西村さん、金澤睦先生、大内敬哉先生、長谷川優先生。

Person

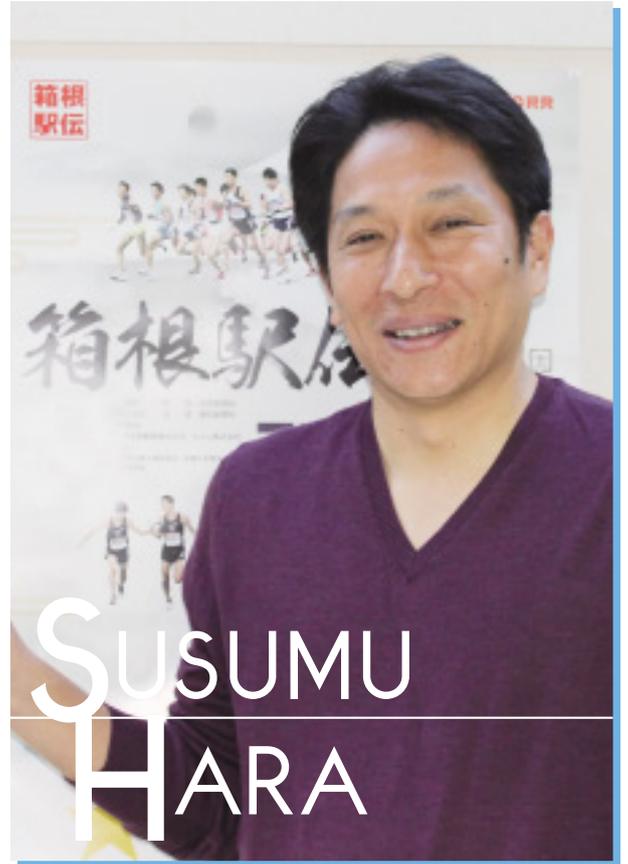
03

## 原 晋さん

(1988年度 体育学部体育学科卒)

### Profile

2004年青山学院大学陸上競技部長距離監督に就任。10年間のサラリーマン生活を経ての転身。座右の銘は「人間万事塞翁が馬」(人生における幸不幸は予測しがたいので、安易に喜び悲しまない)。



### 箱根駅伝の優勝監督 青学大を初の頂点へ導く

今年の箱根駅伝は、青山学院大学が史上最速のタイムで初優勝。三十年近く出場できなかったチームを、原晋さんは就任十一年目で頂点へと導きました。

大会前を、「箱根をどう戦うか。選手たちがしっかりと育った今回、考えるだけでワクワクしました」と振り返る原さん。優勝が決まった後、「選手や控えに回った選手、スタッフ、OB、青学大を応援してくれた人すべてがワクワクするレースができました。『ワクワク大

作戦』は大成功」と安堵の表情を浮かべました。同作戦は、選手たちの緊張をほぐす効果もあったようで、当日、選手の表情は明るかったと評判でした。

監督に就任したのは二〇〇四年。当初「三年で出場、五年でシード権、十年後には優勝争いに加わる」と宣言して周囲を驚かせました。優勝を狙える段階になることを目標とした十年に、わずかプラス一年という期間で頂点に登りつめたことになりました。急成長を遂げた理由の一つに、サラリーマン時代に培った目標達成のノウハウを選手育成に導入したことが挙げられます。

### 「半歩先」まで 目標を落とし込む

原さんは中京大学体育学部を卒業後、広島県に本社をおく電力会社に就職。陸上部に所属し、主将として全日本実業団駅伝に出場した経験もあります。二十七歳で引退後は、ビジネスマンとしての能力を発揮し、高い目標をクリアしていききました。しかし、陸上への未練から指導者の道へ。

営業経験を活かした特徴的な指導方法が、目標管理シートの提出。「選手たちに達成率や今後の

目標を理由とともに書かせることで、やるべきことが明確になり、自己管理できるようになりました。ケガも減り、自分の考えを表現できる素地ができてきたように思います。主体性を大切にしながら、「半歩先」まで目標を落とし込むようにとアドバイスしています。

大学時代、陸上競技部の中尾監督から言われた「自らの意思や考えで動かなければ成果は出ない」は今も心に残っていると言います。原さんは「箱根駅伝のファンが増えれば、陸上競技や地域経済の一層の発展につながります。より魅力的なスポーツイベントにしていきたい」と話しています。



「第91回箱根駅伝」で完全優勝、歓喜の胸上げで3度舞った。  
写真提供:共同通信社

Person

04

## 櫻井 和男さん

(1974年度 体育学部体育学科卒)

### Profile

現在、中部学院大学ゴルフ部監督。美濃加茂高校教員時代、低迷する野球部を甲子園に出場させ、ゴルフ部も強豪校に育て上げた。また兵庫、新潟、岐阜国体と岐阜県チームを三度優勝へとみちびいた名伯楽である。



選手たちの心を支え、  
心で見守るサポートに徹して

体育教師になりたいと中京大学へ入り、さらに卒業して四十年が過ぎようとしています。念願叶い、高校の教員として三十八年、大学に勤務して二年、その間、陸上部で五年、野球部で十四年、さらにゴルフ部では二十一年間とそれぞれ顧問を務めてきましたが、ここまでやってこれたのも中京大学のおかげと感謝しています。

大学時代に所属した陸上競技部では砲丸投げの選手でした。そのため赴任先の美濃加茂高校では当初、陸上競技部を担当しましたが、昭和五十五年に特別強化部だった野球部の部長に抜擢されました。何しろ「甲子園出場」が至上命令。野球は好きでしたが、甲子園出場のためのノウハウなど何もわからないうまま引き受け、戸惑ったことを憶えています。

技術的な指導を監督が行いますので、私が浅はかな知識で口を出せば選手たちが迷う。そこでサポート役に徹し、部員の悩み相談をはじめ、病院や接骨院への送迎、保護者への対応と、監督が指導しやすい環境づくりを心がけました。結果、夏の太

会では過去七年で一勝しかできなかったチームを、その年、甲子園に連れていくことができました。以後、毎年県内でベスト4入り、平成二年には二度目の甲子園出場も果たしています。

スポーツは頂点に立つことも大事ですが、その高みを目指して頑張るプロセスがさらに大切だと思います。喜びの涙、悔し涙、満足の涙があるからこそ、スポーツは美しいのではないのでしょうか。

### “社会に出てからこそ生きる真剣味の精神”を伝授

ゴルフ部の顧問になったのは、平成六年のことです。ゴルフ部も当時それほど強いチームとは言えませんでした。その上、私自身がゴルフ経験もなければ知識もない。しかし甲子園出場を果たした野球部員と同じ感動を経験させてやりたいと一身を捧げてきました。

個人戦ながら全国大会に出場を果たしたのは、顧問となり三年目のことです。やがて服部真夕、鬼頭桜ら八名の教え子たちがプロゴルファーに成長してくれました。素晴らしい部員と出会えたことに感謝と誇らしさを感じます。

母校の建学の精神「学術とスポー



念願の甲子園出場を果たした美濃加茂高校・野球部員たちと。

ツの真剣味の殿堂たれ」は、学業もスポーツも真剣に取り組み、中心的存在になれということだと思えます。団体スポーツにせよ個人スポーツにせよ、自身の存在を示し、チームや組織に貢献できる人物になれるよう指導してきました。それは社会に出れば一層、強く求められることです。何事も手を抜かず精一杯頑張れと生徒や学生たちに叱咤激励しています。

平成二十五年から大学生を指導するようになりました。学生一人ひとり、社会に貢献できる人物とされるよう指導しています。夢は学校対抗戦で日本一になること。関東や関西の強豪校と互角に戦えるよう挑みたいですね。

# 真剣味の心をめぐる旅



## SHOP DATA

愛知県名古屋市中川区石場町3-25-3  
☎052-363-4165  
【営業時間】  
11:30~14:00(月~金) 11:00~14:00(土日祝)  
17:30~21:30(月~金) 17:30~21:00(土日祝)  
【定休日】水曜  
◎アクセス  
名鉄「山王」駅・JR「尾頭橋」駅から  
徒歩約10分



定年退職後に開業し、今年で十周年。息子はシェフ、私はオーナー兼サービス係として、毎日ホールに立っています。小さなお子様からご年配の方まで、お客様との会話が本当に楽しくて、自分らしく働ける、第二の人生を満喫しています。

思わず笑顔になる、家庭的な料理とサービス

01

イタリアンレストラン

marmitta pasta Tronco

1966年度  
商学部商学科卒

渡邊 勇さん



人気メニューは、「ほうれん草のタリアテッレを使ったカルボナーラ」。チーズを使っていないので、苦手な方にもおすすめです。  
中学から大学まで中京育ち。珠算部で鍛えた暗算は、今でも会計に役立っていますよ(笑)。「真剣味」を胸に刻みながら、笑顔の絶えない居心地の良いサービスをお届けしています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

02

飲食店

いなかや

1970年度

法学部法律学科卒

加賀谷 晃さん



## SHOP DATA

愛知県名古屋市中天白区植田3丁目1701  
ワイズビル1F ☎052-802-5151  
【営業時間】  
11:30~14:30 / 17:00~22:00(月~金)  
17:00~22:00(土・祝)  
【定休日】日曜  
◎アクセス  
地下鉄鶴舞線「植田」駅から徒歩約1分



心にじわりと沁みる、なごみの味

両親が飲食店を営んでいたこともあって、卒業後すぐこの世界へ。あちこちで修業を積み、三十六歳で独立。栄の一等地でライブハウスを経営した時期もありましたが、今は名古屋の郊外で良いお客様にも恵まれ、「おい」「お前」の間柄を楽しみながら店に立っています。

仕事を終えると、「ただいま」と直行される常連さんが多いですね。一杯やりながら愚痴をこぼしては僕に叱られて(笑)。若いお客様をたしなめることもあります。厳しくても皆、また来てくれる。厳しくても

温かい母校のDNAがこの店にも流れているでしょう。  
メニューは串揚げにおでん、一品料理は常時三十種類ぐらい。おからは五十年前から変わらないおふくろの味です。家庭的なものが食べたくなったらふらりとどうぞ。

おいしいものや伝統の技、まごころを込めたサービスと、クオリティの一つひとつにこだわりを持った同窓生のお店が全国各地にあります。どのお店にも共通するのは、お客様の満足感のために、より高みを目指す「真剣味」の心でした。

同窓生のお店探訪



日間賀島には、のどかな時間が流れ、心温かく優しい人ばかり。当館でもお客様とのほどよい距離感を大切に、アットホームな空間の心地よさを味わっていただけるような接客を心がけています。

料理で提供する食材は、島の漁師さんから直接仕入れるなど新鮮なものばかり。とくに島の名物たこや冬のふぐ料理はおすすめです。



03 ホテル  
日間賀島 すず屋 海游亭  
2007年度 商学部商学科卒 鈴川 功祐さん

**SHOP DATA**  
愛知県知多郡南知多町日間賀島西港  
☎0569-68-2026  
【定休日】不定休  
◎アクセス  
名鉄:「河和」駅から河和港、日間賀島西港  
車:師崎港から日間賀島西港



また当館は全客室オーシャンビュー。展望大浴場からは三河湾と伊勢湾、知多半島を一望でき、そこから眺める夕景は感動的です。

母校のご縁で宿泊いただく方も多く、人と人とのつながりの大切さを感じています。夏には近くのビーチでイルカとのふれあい体験もできますので、ぜひ全国から足を延ばしていただきたいですね。



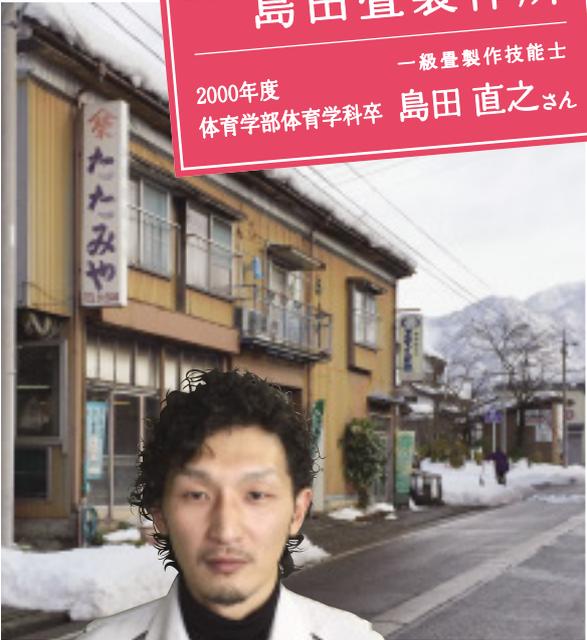
04 畳屋  
島田畳製作所  
一級畳製作技師 島田直之さん  
2000年度 体育学部体育学科卒

一技を継いで四代、畳の名店

初代が商売を始めたのは大正九年、私で四代目になります。一時、教員を志したこともありましたが、兄弟三人、大学まで好きなスキーを続けられたのは家業のおかげ。そう腹を決め、やるからには一番を目指そうと三十歳までに畳に関するすべての資格を取りました。

現在、伝統的な畳から流行のヘリ無し畳、神社やお寺の特殊畳まで多種多様な畳を製作しています。最近では同業者からの注文も多く、一般のお客様はもちろん、プロからも信用・信頼される仕事ができるよう日々、勉強中です。

学生時代はスキー競技部での寮生活やハードな練習が思い出され



**SHOP DATA**  
新潟県糸魚川市大字越89  
☎025-559-2333  
【定休日】不定休  
◎アクセス  
JR北陸本線「梶屋敷」駅

ますが、仕事先でハキハキして気持ちがいいと褒めていただけるのも、当時の積み重ねがあればこそ。先輩方に改めて感謝しています。





大学時代、豊田市の剣道部合宿所(剣心寮)で過ごした四年間の寮生活が、今でも私の宝物です。「フレンチレストラン はなそうし」は、ギフト販売業、各種自動販

**故松田元学長の故郷で新鮮食材を使った美味をお届け**

05 飲食店  
フレンチレストラン はなそうし

1976年度 体育学部武道学科卒 城市 正人さん



プロテニスの錦織選手に紹介された「のどぐる」のコース料理が人気です。



## SHOP DATA

島根県浜田市黒川町37-4 ☎0855-23-8704  
【営業時間】  
11:30~14:00 / 17:30~20:30  
【定休日】月曜 / 年末年始  
◎アクセス  
・浜田ICから車で約5分・JR「浜田」駅から徒歩約5分  
・フロア席27席 / 個室2部屋

売機の販売・リース業の傍ら、異業種への参入として開業し、今年で十三年になります。当店では、食の宝庫である地元の新鮮な食材をふんだんに取り入れたフレンチ・和・イタリアンをコラボレートしたオリジナル創作料理を提供しています。今後も食文化を通して職業奉仕をしていきたいと考えています。同窓生の皆様もお気軽にご来店ください。また昨年八月、島根支部石見地区会が初めて開催されました。これからも県内の同窓生の皆様とともに母校の発展を願っています。

## 06

あられ・おかき  
**たばね庵 松阪駅前店**  
(株式会社 風味堂)

1993年度 商学部経営学科卒 田中 宏幸さん



**母校とともに新しい味を追求**  
昭和二十四年創業の、あられ・おかしせんべいの専門店です。私はその創業家に生まれ、子守唄は機械の音でした。餅は杵つき、今も手伸ばしを基本に、機械化で効率をよくし、手作業にこだわるところは残して製造しています。店は現在、本店を含めて八店舗、松阪駅前店はその第一号店です。専門店ならではの多彩な品揃えで皆様にお楽しみいただいています。月型おかきや松阪牛おかきなど



## SHOP DATA

三重県松阪市中町2003番地  
☎0598-21-4708  
【営業時間】9:00~19:00  
【定休日】なし(年2回程度不定期 / 1月1日・2日)  
【URL】<http://www.tabane.com>  
◎アクセス  
「松阪」駅から徒歩3分(松阪ベルタウン内)

オリジナルな味に、近年、中京大学(宮川ゼミ)及び松阪市と共同開発した「MATSSUSAKA ARAARE」が加わりました。発売開始から二か月で約三千五百個と売れ行き好調です。こうした産官学連携プロジェクトに母校と取り組めたのは大変光栄なことでした。同窓の皆様もぜひ一度、ご賞味ください。





07

旅館

桓武平氏ゆかりの宿 平家の庄

1971年度

文学部心理学科卒 大類 明子さん

### 名湯、故郷のぬくもり、癒しの宿

さかのぼりますと、桓武平氏の系譜を持つ旅館にご縁をいただき、山深い宿の女将となりました。

風情ある自然の中、約三万坪の敷地内には湯西川という川が流れ、源泉かけ流しの温泉は二十四時間お入りいただけます。地産地消にこだわった食事もあることながら、古民家風の空間やおもてなし、すべてに日本の心を映して、お客様が故郷に帰ってきたような落ち着ける宿でありたいと思っています。リピート利用も多く、「お帰りなさい」と声を掛けられるのが何よりの喜び、女将冥利に尽きます。



#### SHOP DATA

栃木県日光市湯西川727-1 ☎0288-98-0031

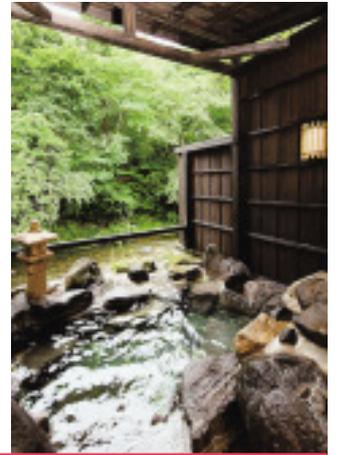
【営業時間】24時間

【定休日】不定期(年間100日の休館日をHP上で告知)

【URL】<http://www.heikenosho.co.jp/index.shtml>

◎アクセス・東武鬼怒川温泉

自分を感じるのだよ」と学生時代、ゼミの教授に頂いた言葉が人生の糧となりました。母校に感謝です。



### 勤勉の積み重ねに生まれる こだわり豆腐

サラリーマンから家業に転職、大正八年創業の豆腐店四代目となりました。自宅火災で店舗が全焼し休業したこともありましたが、大学の先輩や同級生からの激励もあって、一年後に再開。店舗販売やネット通販を中心とする豆腐専門店として現在に至っています。

食という「命をつくる仕事」ゆえ、安全面はもつとも気を遣うところです。安心でおいしい国産大豆一〇



08

### 豆腐専門店 星尾豆富店

1984年度 商学部商学科卒

星尾 純一さん



#### SHOP DATA

岡山県備前市日生町日生1451

☎0869-72-0165

【営業時間】9:30~18:30

【定休日】第1・3・5日曜日

【URL】<http://手造り豆腐.com>

◎アクセス

JR赤穂線「日生」駅



○パーセントに、口あたりまろやかな高純度の軟水を使用し、さらに三重釜蒸らし炊き製法で素材の旨みを引き出した、こだわり豆腐が人気の商品でしょうか。しかし勤勉の積み重ねこそ、ものづくりの原点。まだまだ研鑽していきたいですね。大豆生産に携わっていらっしゃる同窓生の方、ぜひ声を掛けてください。





〔開学60周年記念事業〕  
— 中京大学同窓会後援 —

第59回 文部科学大臣杯

# 全国青年弁論大会

2014年11月9日(日)、開学60周年の最後を飾るイベントとして、「第59回文部科学大臣杯全国青年弁論大会」が清明ホールで行われました。中・高・大、社会人と全国から集まった若人が熱弁をふるい、母校のキャンパスにさわやかな風が吹きわたりました。

大臣杯を目指して  
全国から清明ホールに結集

昭和三十一年から始まった歴史ある弁論大会ですが、愛知県での開催は五回目、中京大学が会場となるのは、今大会で三度目のこと。第二十二回大会には弁論部OBの校友会本部片岡武司参与が栄えある文部科学大臣杯に輝くなど、本学とはゆかりの深い大会です。

まずは大会前日となる十一月八日(土)、メルパルク名古屋にて、登壇順を決める抽選会、交歓会が催され、基準弁論者等二名を含む四十一名の弁士に、本番での健闘を祈り、エールが送られました。

大会当日は小雨のちらつくあいにくの空模様ながら、弁士たちは気合十分、開始時刻ギリギリまで練習に余念がありません。

そして会場の準備も整った午前九時、日本弁論連盟大西副理事長の「言葉は命なり、道なり、光なり。皆さんの言葉が新しい日本、世界を開く力になれば」との言葉で開会が宣言され、同連盟江島会長、北川学長より主催者挨拶が述べられました。続いて大村知事、梅村理事長のご祝辞、さらには神田前知事を審査委員長に錚々たる顔ぶれの審査員が紹介され、いよいよ競弁のスタートです。



中京大学学長 北川 薫氏



栄えある大会で60周年を締めくくり



日本弁論連盟会長 江島 優氏





文部科学大臣杯をはじめ愛知県知事賞、名古屋市賞、豊田市賞、中日新聞社賞、日本弁論連盟会長賞と数々のトロフィーを前に戸惑う西澤さん。ご本人いわく「予想外」の出来事への驚きと緊張もほぐれたのか、演壇で熱く語った彼女は別人のよう。



最優秀賞（一般の部）は慶應義塾大学生の千葉佳織さん。

伝えたい想いを  
それぞれの言葉に託して

東海高校・室田莉吾君の弁論を審査の基準に始まった競弁は、社会人と大学生による「一般の部（十五名）」と「中高生の部（二十四名）」にわかれ、それぞれ自由なテーマを掲げて演壇に立ちました。

いじめや不登校、虐待などの身近な問題から、「おでこのシワも文化」「終戦記念日は万歳三唱をする日」など、若者らしいユニークな視点で多彩な弁論が繰り広げられます。各自の持ち時間は七分以内。六分未満、あるいは七分超過も減点となる厳しいルールで、中高生たちもそのプレッシャーと闘いながら、弁士として懸命に論陣を張る姿が感動を誘いました。

みごと文部科学大臣杯を獲得したのは、女性差別問題を独自の切り口で論じた千葉女子高等学校の西澤由佳さん。論旨のわかりやすさ、抑揚をつけた豊かな表現力が高得点につながりました。

講評に立った神田審査委員長は、「皆さん、よく練習を積み、本番に臨まれたことが伝わってきた。人を説得するという弁論の本質をさらに究めて欲しい」と述べられ、住田信治連盟副会長の関係各位へのお礼の言葉で閉会となりました。



前愛知県知事  
愛知芸術文化センター総長 神田 真秋氏



愛知県知事 大村 秀章氏



最優秀賞以下15名が表彰、25名が奨励賞を受賞



梅村学園理事長 梅村 清英氏



秋の雨をはね返す、母校にあふれた熱気と活気。

冷たい雨に見舞われたホームカミングデーでしたが、この日はキャンパス見学会も開催され、OB・OG、在学生の保護者など約2600名が参加。また61回目の大学祭を迎え、中京大学祭の原点に戻るという意味で『素(もと)』をテーマに、地域の人々との交流を大切にした賑やかなイベントとなりました。

名古屋  
キャンパス

NAGOYA CAMPUS

母校とのつながりに  
また新たな楽しみが広がって。



久野 成之さん(1969年度 商学部卒)

昨年、ワングル部の仲間たちと集まり、初めてホームカミングデーに参加しました。今年は孫たちも一緒に。しかし地下鉄を上げればすぐにキャンパスだなんて便利になったものです。私の時代には、すきま風の吹く木造校舎でしたし、今では入学するのも難しい大学になったと聞いて誇らしさも感じます。同窓会通信で知った卒業生の宿を利用しましたが、大変素晴らしい施設で、同窓生の活躍がまた楽しみになりましたよ。



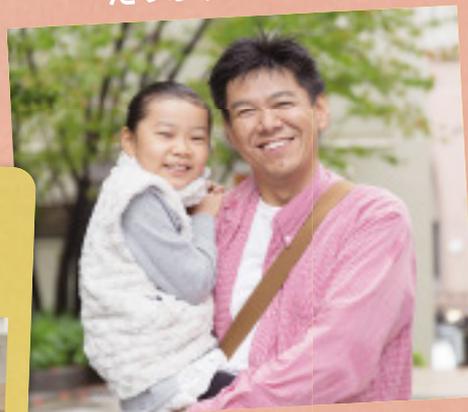
良き師、そして素晴らしき  
悪友たちとの絆に感謝!



小嶋 勇さん(1970年度 商学部卒)、内川 慎介さん(1966年度 商学部卒)、近藤 猛さん(1970年度 商学部卒)、中村 幸治さん(1968年度 商学部卒)、久保(旧姓高松) 操さん(1968年度 商学部卒)、向井(旧姓丸山) 栄子さん(1969年度 商学部卒)、渡邊 勇さん(1966年度 商学部卒)

母校を訪ねる絶好のチャンスと、今日は珠算部OB・OGで声を掛け合いました。遠く広島からも仲間が集まりましたので、まずはお世話になった清明先生、すみ子先生にお花を手向けたいと思っています。学祭では巨大なソロバンみこしを担いで栄から練り歩いたことが懐かしいですね。血気盛んな学生時代、教室ですき焼きをしたり、多少のやんちゃもありましたが、それが社会勉強になったし、かけがえのない思い出です。

今年も後輩たちのパワーを  
たっぷりチャージ。



丹羽 康さん(1997年度 経済学部卒)

ホームカミングデーにはこのところ毎年のように参加しています。模擬店や人形劇もありますので、娘はもう少し小さい頃に一度、今回が二度目の参加です。校舎も一段ときれいに整備されてきましたし、そろそろ大きくなった娘に改めて僕の大学を自慢しようと思って(笑)。これからあちこち見てまわるところですが、いつも活気があって、母校を訪れては元気をもらって帰る感じでしょうか。ありがたいですね。





卒業生の方々に懐かしいキャンパスを訪ねていただくホームカミングデー。目に映る風景は新しく、記憶の中にある母校の姿とは違っているかもしれませんが。しかし時を巻きもどしたかのような、まぶしい笑顔が咲き揃いました。



## 笑顔が集まるキャンパスで充実した一日を。

第21回となる中京大学とよた祭のテーマは「翔(かける)」。ライブやゲーム大会など参加型のイベントも行われ、地域の方々やご家族連れの様が多く見られた3日間となりました。アイスアリーナ見学は今年も大人気。ライブ感あふれる滑りに魅了されていました。

豊田  
キャンパス  
TOYOTA CAMPUS



変わらない友情を確かめ合う、  
貴重な時間と空間。

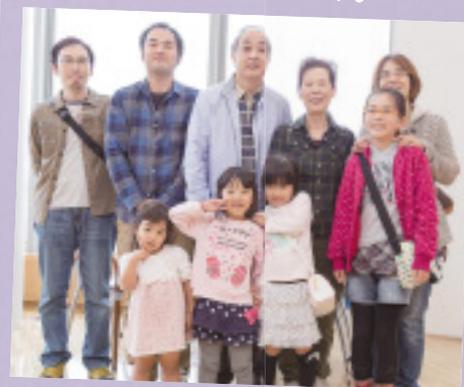


由夏さん、志帆さん  
(1997年度 社会学部卒)

私たち、学生時代、同じアパートに住んでいたんですよ。以来ずっと友人で、家族みたいな存在です。ホームカミングデーにはじめて参加したのは4年前。大学を訪れたのは卒業以来でしたが、一步キャンパスに足を踏み入れると気分は大学生に戻ってしまうから不思議ですよ。当時に比べるとキャンパスの風景はずいぶん変わりましたが、マインドは全然変わっていません。これからも毎年訪れて、お互いの友情を再確認したいですね。



家族のコミュニケーションを深める、  
大切な行事です。



加藤 三郎さん(1971年度 商学部卒)

ホームカミングデーには、第一回目から毎年、家族と一緒に参加しています。学食でランチを食べたり、出店を巡ったりしながら、孫に自分が学んでいた大学のことを語るの、誇らしい気持ち。孫にとって中京大学は憧れの大学になっているようで、「私も将来はここに通いたい」と言ってくれるのがうれしいですね。ホームカミングデーで家族とコミュニケーションするひとときを、これからも大切にしたいと思います。

学生時代の思い出の場所で、  
家族と新しい思い出づくり。



石井(旧姓国枝) 奈穂美さん(2000年度 社会学部卒)

キッカケは、ホームカミングデーに参加した友人からの年賀状。「大学がずいぶん変わってよ」という言葉を確かめたくて、昨年にはじめて訪れました。たしかに、新しい校舎や施設が増えていてビックリ(笑)。イベントが盛りだくさんで、一緒に来た家族も喜んでいました。娘は、ゲームに参加した時にいただいたメダルを今でも大切に飾っているほどです。母校への愛着を実感でき、家族孝行もできた一日になりました。



# 第11回

# 名刺交換会

二〇一五年一月二十四日(土)、恒例となりました「中京大学同窓会名刺交換会」が名古屋観光ホテルにて盛大に開催されました。第十一回を迎えた今年は、母校の絆の下に五百余名の同窓生が参集。懐かしさにこぼれる笑み、再会を喜びあう顔、後輩を見守る温かな微笑み…。まさに「笑う門には福来る」、ビジネスの人脈づくりだけではない、同窓生の集いにふさわしい催しとなったようです。



## 第一部／講演会

講師 内田 俊宏 — 中京大学経済研究所研究員

「テーマ」二〇一五年の日本経済および中部経済



### アベノミクスを解き明かし 日本経済の行方を知る

午後五時半きっかりにスタートした第一部講演会では、本年四月、中京大学経済学部客員教授に就任予定で、テレビや雑誌でもおなじみのエコノミスト・内田俊宏氏を講師に迎え、日本および中部経済の動向についてプロジェクターを使い、ひもといていただきました。

まずは二〇一二年十二月、第二次安倍内閣発足にともない放たれたアベノミクス「三本の矢」についてわかりやすく解説。そして第一の矢、第二の矢による景気押し上げ効果に一服感が見られる

こと、さらに「消費税増税(十パーセント)を一七年四月に先送りしたことで、景気のシナリオが完全に変わってしまった」との内田先生の見解で、第三の矢となる成長戦略が今後軌道に乗るまで、日本経済を取り巻く環境はまだまだ厳しいようです。

とくに今年の干支は未(ひつじ)年ですが、「株式相場の世界では辰巳天井、午尻下がり、未辛抱」という格言があり、まさにそれを地でいく『耐える年』となりそうです」とのこと。ただ「一六年後半、もしくは年央から東京五輪まで回復局面が続くだろう」とのお話に、場内から安堵のため息が漏れました。

### 中部地区は ビジネスチャンスの宝庫

また五輪後の反動を懸念するお話もありましたが、「二〇一七年にリニアの開業が予定されている中部地区は好条件」であること。加えて、ものづくり中部の技術を活かした新産業の成長戦略も期待できる上、中部北陸を結ぶ「昇龍道プロジェクト」など観光資源にも恵まれ、中国や東南アジアの富裕層を取り込むなど、多くのビジネスチャンスの可能性を示唆する内容に、収穫を得た参加者は少なくなかったようです。皆さん、足取りも軽く次の会場へ移られました。

## 第二部／名刺交換会

### 快走しつづける 母校の発展とともに

第二部名刺交換会は、「東洋太平洋ミニム級チャンピオン」の座に輝いたプロボクサー田中恒成選手（経済学部一年）の特別表彰から幕を開けました。森谷敏夫同窓会長から賞状、梅村清英理事長から激励金を受け取った田中選手は、「こうした場で偉大な先輩方とお会いできたのは光栄なこと。次の目標は世界王者！ぜひ応援をお願いします」



田中 恒成選手（第17代OPBF東洋太平洋ミニム級王座）

とコメントし、割れんばかりの拍手が送られました。

開会の辞に立った森谷同窓会長は、「幸先の良いスタートに恵まれた。母校もNEXT10という新しい方向を目指して走り出したが、懇親を含め、母校をサポートできるようOB・OGが丸となる場にして欲しい」と述べられ、梅村理事長からは「NEXT10の完成年度となる二〇二三年には、素晴らしい母校の姿をお見せできるよう頑張りたい」とご挨拶いただきました。



### 同窓の絆は業種、 世代を超えて

また二〇一四年度で任期を終えられる北川薫学長からは、来賓ご挨拶の中で次期学長として安村仁志副学長を紹介いただきました。

これを受けて安村副学長がご登壇。「同窓生の皆様の進取の気風々に、中京大学の今がある。本日は進取ならぬ親酒となり、豊かな交流となりますように」と乾杯のご発声を賜り、名刺交換会が始まりました。

まずは、いかにも初々しい田島可南子さん（二三年度国際英語学科卒）。「営業職のため、人脈づくりになればと初参加。同業の先輩にアドバイスをたくさんいただけました」とのこと。また、なごやかに歓談中の加藤

英長さん（六〇年度商学科卒）と磯部壮至さん（〇五年度体育科学科卒）の年齢差は四十五歳。お互いに世代を超えた会話を楽しめるのも同窓ならではです。

東京から参加された益子一穂さん（八〇年度健康教育学科卒）は、「出席者は東海三県が中心、遠方の同窓生にもぜひ参加して欲しい」との意見でした。

「北川先生に会いたくて」とおっしゃる金野美子さん・上田恭子さん（九二年度健康教育学科卒）は五回目の参加。ミニ同窓会のような雰囲気、和気あいあいと楽しんでいらつしやる様子が印象的でした。

開始から約二時間、大西校友会本部長の中締めで学歌を斉唱、片岡参与のエル交換で盛り上がりはピークを迎え、閉宴となりました。



副会長

鈴木 揚一

1977年度 体育学部  
1982年度 体育学研究科  
豊田市



会長

森谷 敏夫

1972年度 体育学部 京都市  
住所・連絡先:  
校友会本部へご連絡ください



役員紹介 /  
会長・顧問・  
副会長

副会長

高橋 繁浩

1983年度 体育学部  
1986年度 体育学研究科  
みよし市



副会長

瀧 剛志

1993年度 情報科学科部  
1998年度 情報科学研究科  
みよし市



副会長

竹尾 悟

1969年度  
文学部  
小牧市



顧問

土方 清

1968年度  
商学部  
桑名市



副会長

寺尾 悟

1997年度  
社会学部  
岡崎市



副会長

和田 政彦

1969年度  
法学部  
松阪市



顧問

今井 宏司

1961年度  
体育学部  
岡崎市



副会長

森田 大延

1997年度  
経営学部  
名古屋市



副会長

相羽 由光

1972年度 商学部  
1974年度 商学研究科  
愛知郡



顧問

川岸 信一

1965年度  
体育学部  
尾張旭市



東三河支部長

小栗 俊朗

1979年度 体育学部  
豊橋市  
0532-47-9064



尾張支部長

石黒 可妻

1983年度 体育学部  
江南市  
0587-56-1884



愛知県支部長

西三河支部長

伊澤 裕司

1977年度 文学部  
名古屋市  
052-684-0774



知多支部長

三輪 りな子

1973年度 体育学部  
東海市  
052-603-0306



名古屋支部長

安江 明康

1978年度 体育学部  
春日井市  
0568-85-2584



## 北海道支部長

## 多くの同窓生の参加を!

矢藤 良雄 1969年度 体育学部 石狩市 090-3396-2010

広い北海道で一堂に会しての同窓会は参加が難しいことから、2013年は旭川市、2014年は帯広市で開催。2015年は7月25日(土)網走地区で開催予定です。地区理事の高橋善治氏(北見市立小泉中学校長)を中心に準備を進めています。遠方の場合には補助制度もあり、この機会に多くの方が参加されることを期待しています。



## 各支部からのたより

## 山形県支部長

## 母校の著しい発展とともに

石川 宏 1976年度 体育学部 米沢市 0238-23-1982

中京大学を卒業して、すでに38年が経ちました。私たちが学んだ頃の母校の校舎や学友たちの顔を懐かしく思い出しています。

山形には現在115名ほどの同窓生がおり、皆、それぞれの分野で活躍しています。母校の著しい発展とともに、同窓生たちの活躍は、私の誇りになっております。



## 青森県支部長

## 支部同窓会に向けて

井上 義則 1964年度 体育学部 五所川原市 0173-34-4976

青森県支部同窓会を2015年10月24日(土)に開催することになりました。これを機会に県内各地の同窓生との親交を深めたいと思います。また支部役員の変更もしなければと考えています。同学年や同地区、同部活の同窓生と連絡を取り合いながら、一人でも多くの方がご参加くださるようお願いいたします。



## 福島県支部長

## 支部同窓会を終えて

山内 光樹 1975年度 体育学部 田村郡 0247-72-5670

2014年秋に福島県支部同窓会を行い、大学・校友会本部から梅村清英理事長様をはじめ11名の皆様をお迎えして盛大に開催できました。支部会員も大いに盛り上がり、情報交換と懇親を深めることができました。今後、支部同窓会の絆をさらに深め、校友会との連携を密に、母校の発展に努力していきたいと思っています。



## 岩手県支部長

## 2016年の岩手国体を成功へ

田村 雄孝 1969年度 体育学部 盛岡市 019-659-2445

本県から中京大学への入学者が少ない中、卒業生は職場を退職される方々が増えて参りました。そうした中で2016年に開催される岩手国体に向け、各部署で役員として、また選手強化の一員として多くの同窓生が活躍しております。中京大学卒業生はもちろん、県民一丸となって成功に向けて取り組んでいるところです。



## 茨城県支部長

## 剣は心なり

塚本 浩一 1983年度 体育学部 守谷市 0297-45-9796

毎年11月3日の文化の日に、剣道日本一を決める「全日本剣道選手権大会」が日本武道館で開催されます。

2014年の茨城県代表として、小磯仁徳氏(99年度卒)が出場されました(4回目)。堂々と戦われたその姿は大変立派であり、我々中京大学OB・OGの誇りです。



## 宮城県支部長

## 母校の女子駅伝にエール

千葉 道博 1972年度 体育学部 石巻市 0225-76-2047

東日本大震災から4年が過ぎ、同窓会の皆様方からのご支援をいただき、支部同窓生も復興に向け頑張っているところです。

そんな中、今年も「全国大学女子駅伝競走大会」が仙台で開催され、宮城県支部会員が母校ののほかりを立て、陸上競技部女子を沿道で応援しました。今後も選手の活躍を期待しています。



## 栃木県支部長

## 同窓会を定期的に開催

渡辺 成美 1984年度 体育学部 小山市 0285-38-0705

今年は支部長職を引き継いで5年目になります。就任時に支部同窓会を開催しましたが、それ以降開催できていない状況です。

栃木県支部会員数は180名と全国的にみても決して多くはないですが、同窓会の輪を広げ、母校の発展につながるよう定期的に同窓会を開催していきたいと思っています。



## 秋田県支部長

## 支部同窓会活性化のためにご協力を!

佐々木 信吉 1969年度 体育学部 秋田市 018-834-4722

支部同窓会を開催してから、早くも数年が過ぎようとしています。

支部会員数は約140名となり、卒業生も退職者が多くなってきている状況です。

今後、支部のあり方についても検討しなければならぬと思っていますので、地元の方々のご協力をお願い申し上げます。



## 新潟県支部長

## 支部組織の結束力

竹内 知宏 1979年度 体育学部 新潟市 025-286-0104

新支部長を命じられ1年が経過致しました。支部会員数も529名の大所帯となり、一層のまとまりと協力を得ながら組織作りを考えています。母校は開学60周年を迎え、全国有数の総合大学に発展していることを誇らしく思います。新潟同窓会の連携を密に、飛躍する大学に負けず新潟の地より支援していきたいと思ひます。



## 群馬県支部長

## 女子ソフト日本リーグ地元凱旋

三川 高 1970年度 体育学部 前橋市 027-221-3865

2014年11月6日の上毛スポーツ紙に浦野光史氏(61)の記事が掲載されていました。中京大学を卒業後、県立高校教諭を経て、太陽誘電監督を務め、ソフトボール女子日本代表コーチとしてアテネ・北京に貢献。現在はNECアクセステクニカ監督として2部で全勝優勝し、1部昇格を決めて、今年は群馬にチームを引き連れて凱旋されます。



## 山梨県支部長

## 同窓会の充実

山下 正人 1971年度 体育学部 昭和町飯喰 055-275-3705

同窓生の把握は校友会からの名簿で行いますが、転勤、退職等で連絡が取れず、全体を把握できない状況です。会員を増強し、同窓会組織を充実すべく、会員のネットワークを活用して情報収集に努めていますが、満足できる状況にありません。全国の同窓生の皆さん、会員増強の良いアイデアがありましたら教えてください。



## 埼玉県支部長

## 各界で活躍する会員をご紹介します

高木 英朗 1969年度 体育学部 北本市 048-542-8303

企業や教育界等、幅広い分野で多くの方が活躍されています。山岸範広氏(2000年度体育卒)はサッカーJ2山形の選手(GK)として活躍されています。J1昇格プレーオフ決勝で千葉を1対0で破り、来季の復帰を4季ぶりに決めました。今後の活躍を期待したいと思います。皆様も近況、情報等をぜひお知らせください。



## 長野県支部長

## 組織拡大の協力を

長谷川 浩一 1979年度 体育学部 飯田市 0265-22-1515

平成13年に支部長となり、今年で15年目を迎えます。平成26年度は仕事の関係もあり、なかなか活動が思うように進みませんでした。過日、地方新聞に高森町「熊谷元尋」町長の記事を読み大変心強く思いました。自治体も含め組織の拡大を進めていきたいと考えております。情報提供を引き続きお願い致します。(090-4606-2326)



## 千葉県支部長

## 同窓会開催!

猿田 明 1972年度 体育学部 四街道市 043-422-0620

2014年10月に7年ぶりの支部同窓会を開催することができました。卒業生名簿には400名を超える方々がいます。今回は18名の方に参加していただきましたが、大学を通じた交流は話題も広がり、人生を豊かにしてくれるものと改めて思いました。それぞれの立場で活躍している皆さん、次回は是非ご参加ください。



## 富山県支部長

## 相次いで中京OBが表彰

野田 智 1978年度 法学部 射水市 0766-56-2215

平成26年度の県政功労者に県ソフトボール協会・坂田勲副会長(1965年度体育学部卒)、富山第一高校サッカー部・長峰俊之部長(1975年度体育学部卒)が、また県教育功労者に高校スキー競技の振興に尽力された南砺総合平高校の井淵信雄教諭(1980年度体育学部卒)が選ばれ表彰されました。心よりお祝い申し上げます。



## 東京都支部長

## 支部同窓会開催へ!

加藤 隆司 1982年度 体育学部 江戸川区 090-1735-5703

毎年多くの卒業生を受け入れている東京都支部ですが、数年すると転勤等で不明となる方が多くなります。東京でまず同窓会に参加していただき、同窓会を身近に感じ、その後も引き続き参加していただけるよう工夫していきたいと思ひます。まずは同窓会の開催を目指していきますので、その際は是非ご協力ください。



## 石川県支部長

## 同窓の輪を大きく広げて

岩下 良 1969年度 体育学部 金沢市 076-298-3122

2014年度は、学校部会10周年記念事業として記念講演を開催し、会員の資質向上のみならず本県教育の振興に寄与すべく、会員以外の県内教育関係者にも参加を働きかけ、多くの参加者を得、大好評を得ました。

今年度もまたこうした事業を企画し、実りある同窓会となるよう努力したいと思ひます。



## 神奈川県支部長

## 神奈川県で同窓会開催!

諸石 晃 1982年度 体育学部 座間市 046-251-8887

近年、SNS普及とその機能には驚かされますが、私の世代でも大学時代の寮の仲間とLINEのグループを作り、全国にいる仲間と情報交換しています。近況報告や台風のリアルな情報がLINEを通し、写真付きで日本を縦断しました。2015年10月17日に神奈川県支部同窓会が行われます。多くの同窓生の参加をお待ちしています。



## 京都府支部長

## 広げよう!京都の絆

木村 義二 1972年度 体育学部 南丹市 0771-62-3370

「広げよう!京都の絆」をテーマに、京都の同窓生が集まる総会を11月28日に予定しています。今回は近畿ブロック支部同窓会となります。盛大な同窓会となりますよう、皆様のご出席を宜しくお願い致します。若い層もぜひ積極的に参加してください。京都の絆を大切に、それぞれの分野でご活躍ください。お体を大切に。



## 福井県支部長

## 今年も一歩ずつ前へ

坂下 貞雄 1967年度 体育学部 吉田郡 0776-61-0860

2014年9月20日(土)、福井駅前のユアーズホテルフクイにて、県支部総会及び懇親会を開催しました。懇親会では1分間スピーチで全員が近況報告するなど、大いに盛り上がり旧交を温めました。健康で参加できたことに感謝し、明日からの活力にしたいと思います。新年度も元気の姿での再会を楽しみにしています。



## 大阪府支部長(新)

## 支部同窓会を開催!

中岡 英彦 1976年度 体育学部 大阪市 090-9625-1983

大阪府支部総会の本年度の議案として、前支部長の岡本博氏から中岡英彦への改選及び、前年度の事業報告と会計報告が承認されました。

岡本前支部長の声掛けによる再結成から三年を経過しましたが、今後も支部同窓会を毎年開催いたしますので、多くの会員の皆様のご参加、ご協力をお願い申し上げます。



## 静岡県支部長

## 2015年 静岡県で同窓会開催!

橋本 美智夫 1967年度 体育学部 静岡市 054-262-9031

2014年11月下旬、全国中部ブロック(8県)の支部長会議(甲府市)に出席しました。

大学恩師をはじめ校友会本部・各支部長・地元山梨県同窓生の皆さんと内容の濃い会議と情報交換ができました。

今年は2015年11月21日に静岡県で同窓会を開催します。同窓生の皆さん是非ご参加ください。



## 奈良県支部長

## 2017年の同窓会開催に向けて

高見 喬宏 1967年度 体育学部 宇陀市 0745-82-3426

2017年には奈良県支部同窓会を開催する予定です。

現在、奈良県支部会員数は445名を数えます。2年後の開催に向け、これから様々な準備が必要となります。その際は、会員の皆様のご協力が不可欠となりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 岐阜県支部長

## 各地区同窓会、学校部会をさらに強化

山脇 義宏 1962年度 体育学部 安八郡 0584-27-4678

岐阜県支部での平成26年度のおもな行事としては、高山地区同窓会、西濃地区同窓会、関地区同窓会と、各地区ブロック別の同窓会を行いました。また親睦会としてゴルフコンペも開催し、大変充実した楽しい一日となりました。27年度は各地区同窓会や教員の学校部会の充実を図っていきたく考えています。



## 和歌山県支部長

## 全国同窓会開催に向けて!

四至本 晴夫 1964年度 体育学部 泉南郡 072-494-0232

2015年の全国同窓会開催に向けて、会員の参集を図るべく、新宮・東牟婁地区の懇親会を皮切りに県下各地区の懇親会を実施し、さらなる会員の広がりに鋭意努力しているところです。ぜひ多数の皆様のご参加をお待ちしております。

全国同窓会開催予定日:2015年9月26日(土)  
(事務局長:熊崎 訓自 090-3622-8488)



## 三重県支部長

## 支部同窓会の盛大な開催に感謝!

加古 昭次 1965年度 体育学部 松阪市 0598-29-1719

支部同窓会を2014年12月13日(土)に松阪の華王殿で開催し、多くの三重県支部会員と近畿地区7県の支部長、大学から理事長、学長の出席を仰ぎ、盛大に楽しく過ごすことができました。多くの会員や先生たちと世代を超えて交流し、親睦の輪が広がりました。県支部長として参加して下さった方々に感謝申し上げます。



## 兵庫県支部長

## あれから20年

藤田 英明 1964年度 体育学部 西宮市 0798-53-3383

阪神淡路大震災から20年。防災・都市計画を柱に街の風景も変わりましたが、都市化を急ぎすぎ、地域のつながりを忘れた感もあります。当時は数々の激励をいただき、我々もまだ頑張れると、新しい一歩を踏み出すことができました。今後は少しでも多く同窓の輪を広げられるよう、地区同窓会の開催を目指しています。



## 滋賀県支部長

## ピョンチャンでの再起を期して

奥村 源太郎 1964年度 体育学部 甲賀市 0748-88-4911

活躍が期待されたソチ五輪の前に、怪我で無念のリタイアを余儀なくされた伊藤みき選手でしたが、帰国後手術に踏みきり、辛いリハビリに耐え、現在は雪上トレーニングができるまで回復しています。来るべきピョンチャン五輪への4大会連続出場とメダル獲得を目指し、日々奮闘中の彼女に支部同窓会も応援を続けます。



## 徳島県支部長

## 陸上教室を実施!

堀北 茂生 1969年度 体育学部 阿波市 088-696-3225

徳島県支部として大きな活動ができていませんが、どうにか活性化できないかと各分野で活躍している会員の皆さんと話し合ってきました。

その一環として、2014年11月、中京大学卒業後、現在ミズノに勤務されている市川華菜選手(2012年度体育学部卒)に来県していただき、陸上教室を実施することができました。



## 鳥取県支部長

## 全力で応援

清水 寛 1972年度 体育学部 倉吉市 0858-28-1889

鳥取県支部では町長・市議・町議会議員の中で同窓生の方はいらっしゃいましたが、県議会議員の方はおられませんでしたが、しかし今春の統一地方選挙で、ついに同窓から県議に初出馬されます。支部長として全力で応援したいと考えています。また政界に限らず、各分野での活躍は卒業生として誇りに感じています。



## 香川県支部長

## 支部同窓会の発展を願う

高橋 卓巳 1979年度 体育学部 観音寺市 0875-54-3736

2006年に香川県支部長となり、今年で10年目を迎えました。最初は緊張の中、中国・四国支部長会に参加させていただき、各支部の活動状況を聞く機会を得ることができました。現在、支部会員数は800名に迫りつつあります。今後一層、支部同窓会を充実させていきたいと思ひます。会員の皆様のご協力をお願い致します。



## 島根県支部長

## 石見部同窓会の活性化を願う

大森 栄二 1972年度 体育学部 松江市 0852-24-4225

2014年6月、浜田市のフレンチレストランはなそうし(76年度卒・城市正人氏オーナー)で「石見部同窓会」を初開催しました。10名程度の会でしたが、2015年度には広く案内し、盛大な同窓会を実現したいと思います。多くの参加者を期待します。本県の宛先不明者は170名弱です。同窓生の現住所等の情報をお願いします。



## 愛媛県支部長

## えひめ国体を夢の舞台に

村上 泰史 1984年度 商学部 今治市 090-3187-3045

日本拳法の2014年全国大会で、今治拳友会の児童生徒3名が入賞。昨年に続く二連覇、初優勝と全国チャンピオンが2名誕生しました。子ども達が堂々と戦う姿に誇りや勇気、元気、感動、そして「新たな夢」まで与えて貰いました。えひめ国体の開催まであと2年。「新たな夢の舞台へ!」全力で準備を進めています。



## 岡山県支部長

## 各地で楽しく親睦を深めよう

石川 浩朗 1969年度 体育学部 岡山市 090-1181-8014

平成26年は、2月に津山市、10月には日本のエーゲ海と呼ばれている風光明媚な瀬戸内牛窓で支部同窓会を開催しました。梅村杯(親睦GC)は、東児が丘マリンヒルズGCで開催と、皆様のご協力を得て楽しくも有意義な会となりました。ありがとうございました。次回は平成27年8月、倉敷市で会いましょう。



## 高知県支部長

## 支部総会へ多数のご参加を

川島 祥嗣 1978年度 体育学部 高知市 090-3989-3060

県支部長を引き継ぎ3年目となりました。2015年度の支部総会は6月13日(土)、翌14日(日)には恒例の梅村杯親睦ゴルフコンペを予定しています。改めて案内をお送りしますので、多くの皆様のご参加をお願いします。

今後も支部活動を一層充実させていきたいと思ひます。ご支援ご協力よろしくお祈りします。



## 広島県支部長

## 同窓生、集まれ!

徳永 安春 1969年度 体育学部 広島市 090-5693-3313

2014年3月、同窓生教育関係者の懇親会を開催しました。短い準備期間にもかかわらず、世話人のご尽力により約50名が参加。年代を超えて八事・豊田の思い出話で盛り上がりました。2015年11月7日には、中四国支部長会議に合わせて、県支部総会・懇親会が広島で予定されています。一人でも多くの皆様のお越しを願っています。



## 福岡県支部長

## 支部同窓会を開催

武尾 一三 1969年度 体育学部 遠賀郡 093-202-1706

2014年9月13日、西鉄グランドホテルにおいて九州・沖縄地区支部長会議及び福岡県支部同窓会を開催しました。

支部同窓生・大学関係者を含め、70名近く参加し、懇親会も大いに盛り上がりました。関係者の皆様へ深くお礼を申し上げますとともに、次回同窓会は一人でも多く参加できるように、なお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



## 山口県支部長

## 今年は岩柳・周南地区での開催です!

浜岡 藤生 1974年度 体育学部 下関市 083-259-8732

山口県支部が発足して30年、初代支部長の阿比留氏から引き継いで、たいした活動もないまま25年が過ぎようとしています。下関地区のみで同窓会を開催していましたが、今年は周南地区において少人数でも懇親会ができればと計画しています。岩柳・周南地区同窓生の皆さん、ぜひ参加してください。親交を深めましょう。



宮崎県支部長

若い世代と力を合わせて!

野中 芳郎 1969年度 体育学部 宮崎市 0985-28-4343

支部同窓会発足時から、事務局長として尽力いただいた寺田正氏(70年度体育学部卒)が日大高校の体育局長を花道に退職されました。長年、組織育成に取り組まれた努力に感謝申し上げます。第一線を退いた団塊世代である私たちも、今後若い世代と力を合わせて支部活動を充実させたいと思いますので支援をお願いします。



佐賀県支部長

佐賀県の卒業生連携の強化を

佐保 文明 1970年度 体育学部 佐賀市 0952-62-4737

2015年9月12日(土)、九州支部長会が佐賀県で開催されます。それに合わせ佐賀県支部同窓会を開催いたします。当日、大学本部からも理事会、同窓会、校友会本部より多数ご出席くださる予定です。佐賀県出身の卒業生の皆様のご出席をお待ちしています。なお会場は「ホテルニューオータニ佐賀」を予定しています。



鹿児島県支部長

よき友は人生の宝

肥後 六男 1970年度 商学部 鹿児島市 099-295-3738

この世で尊く、信じられるもの——それは友情である。人間としての究極の証しは友情である。友情は永遠に朽ちることのない人生の宝である。同窓会という絆の中、よき友の中に集うことで人間は磨かれる。大いに友情の環を広げましょう。2015年秋に支部同窓会開催予定です。参加をお待ちしております。



長崎県支部長

会員の心を繋ぐ温もり

妻鹿 実 1974年度 体育学部 西彼杵郡 095-882-8730

長崎市で開催された全国同窓会、目標の50名には届きませんでしたが、過去最多の参加で、長崎県中京大学同窓生の旧交を温める絶好の機会となりました。約40年前、体育学部出身者数名で立ち上げた同窓会が、先輩方の熱い思いと行動で今日まで発展しました。『あったかい人の温もり』が私たち会員の心を繋いでいます。



沖縄県支部長

九州共立大仲里清監督勇退!!

宮城 鐵夫 1971年度 体育学部 名護市 0980-52-0008

沖縄県出身者で中京大OBの九州共立大野球部監督・仲里清スポーツ学科教授が、2014年5月、35年間の監督生活にピリオドを打ち勇退されました。その間、福岡六大学リーグで36回の優勝、96年大学選手権準優勝、99年明治神宮大会優勝、そして数多くのプロ野球選手を輩出しました。本当に永年おつかれ様でした。



熊本県支部長

熊本県支部の活性化のためには?

陶山 三千也 1978年度 体育学部 玉名郡 0968-34-3254

2014年度熊本県支部会員に、新たに7名の卒業生の加入がありましたが、6名が県外(中部地区)への就職、就職先の記入のない者1名は、熊本へ帰っての就職であったか不明です。熊本出身であるが地元へ帰ってこない、こられない、そのような状況の中、「熊本県支部の活動」をどう活性化させていくか、課題も多いです。



アメリカ合衆国東部支部長

大場 邦明 1965年度 商学部  
ニューヨーク 845-753-5648



海外5支部  
支部長紹介

※海外在住の同窓生募集  
Email  
koyu@mng.chukyo-u.ac.jp

大分県支部長

支部組織の活性化に向けて

石井 厚 1963年度 体育学部 築上郡 0979-25-0525

2013年、5年ぶりに開催された支部同窓会は出席者が少なく残念な結果に終わりました。そこで他県支部を参考に、まずは教育関連部会を開催し、活性化の糸口にしたいと考えています。関係者の皆様のご協力をお願いします。柳ヶ浦高校の中村誠君が同校男子バスケット部を二年連続インターハイへ導きました。



中華民国(台湾)支部長

趙 榮瑞 1985年度 体育学部  
台中市 0932-646-415



カナダ支部長

林 大輔 1990年度 体育学部  
ビクトリア 250-721-9978



アメリカ合衆国支部長

立川 正孝 1966年度 商学部  
ロサンゼルス 310-516-0366



オーストラリア支部長

平原 照仁 1989年度 社会学部  
シドニー



開学から60年の歳月が流れ、母校の卒業生は約12万人となりました。

各都道府県で組織する支部会は46支部、海外5支部、さらに学校部会やクラブOB・OG会など、縦横無尽にネットワークが広がり、年間を通して多彩な交流が展開されています。



# 支部会 報告



支部名	掲載ページ
法学部同窓会	P34
第30回全国同窓会	P34
オーストラリア支部同窓会	P35
北米3支部合同同窓会	P35
北海道支部同窓会	P35
福島県支部同窓会	P35
千葉県支部同窓会	P35
山梨県支部同窓会	P36
静岡県支部静岡市地区同窓会	P36
岐阜高山・飛騨・白川支部同窓会	P36
愛知県尾張支部同窓会総会	P36
愛知県西三河支部同窓会	P36
愛知県知多支部同窓会	P37
富山県支部同窓会	P37
三重県支部同窓会	P37
京都府京丹後市地区同窓会	P37
大阪府支部同窓会	P37
兵庫県支部ゴルフコンペ	P38
岡山県支部同窓会・ゴルフコンペ	P38
鳥取県支部同窓会	P38
香川県支部同窓会	P38
徳島県支部阿波踊り中京大学連	P39
高知県支部同窓会・ゴルフコンペ	P39
福岡県支部同窓会	P39
鹿児島県支部同窓会	P39

支部名	掲載ページ
愛知県学校部会総会	P39
八豊会総会	P40
愛知県学校部会特別支援教育部会	P40
中京挙母会	P40
愛知県学校部会管理職・行政職懇親会	P40
愛知県学校部会公立高等学校部会	P40
愛知県学校部会ゴルフコンペ	P41
静岡県学校部会	P41
石川県学校部会	P41
北海道学校部会	P41
空手道部創部55周年記念祝賀会	P41
中京ジュニアカップ体操競技・新体操交流大会	P42
詩舞道部友の会	P42
陸上競技部42年度卒同期会	P42
体育学部三八会同窓会	P42
40年度卒同期会	P42
美術部OBとしわ会	P43
自動車部OB会	P43
体操部41年度卒同期会	P43
体操競技部・新体操部43年度同期会	P43
和歌山県OB・OGの集い	P43
書道部同窓会	P44
愛知県・名古屋市新任教員研修会	P44
愛知県教員採用試験面接・実技講習会	P44
名古屋市教員採用試験学習会	P44
愛知県警察官採用試験面接講習会	P44
課外活動奨励賞授与式	P44

## 法学部同窓会



大学と卒業生との連携を目的に、二〇一四年十一月一日、「第一回法学部同窓会」が名古屋キャンパスで開催され、同窓生九十一名、教員ら本学関係者十八名が親睦を深めました。

本学ではこれまで、学部を超えた同窓会については幾度も実施してきましたが、「学部別」というセグメントでの同窓会開催は今回が初めてです。

金川康二・法学部同窓会会長は、「会員相互の親睦を深め、旧交を温めるとともに、絆をしっかりと持ちたい。法学部と中京大学、双方の発展に寄与できるように法学部卒業生の連携を強め、さらなる発展と飛躍を目指していきたい」と、抱負を語りました。

法学部同窓会は法学部出身者に加え、法学研究科の卒業生が会員となつています。同学部は一九六六年の開設から今春

までに約一万七千六百名の卒業生を輩出しており、「学部創設五十周年」を目前に、卒業生のネットワークを強化したいという要望が、同窓会や事務局にも上がつていました。ちなみに一九七六年開設の法学研究科は約二百八十名が修了しています。

梅村清英理事長は、「本学で初めての学部同窓会・法学部同窓会の設立は、本学長期計画NEXT10の一つ『卒業生連携プロジェクト』の一環でもある」と述べられました。北川薫学長も「ユニークな先生方の努力によって、法学部は中京大学を牽引されてきた。今後も法学部同窓会の協力を得て、本学はますます発展していくことでしよう」と期待を込めました。

同窓会準備会職員は、「第一期生から在学生まで集まり、職種も弁護士や公務員、社長などさまざままで、交流の幅が広がった。ホームカミングデーと同日開催で参加しやすかったとの声も頂いている」との報告でした。今年度は十月三十一日(土)開催予定。



## 第30回全国同窓会



第三十回を迎えた「中京大学全国同窓会」が二〇一四年十月十一日、長崎市で開かれ、長崎県在住の同窓生ら六十名と同窓会の会長・副会長ら役員、中京大学関係者二十名の合計八十名が参加し、交流を深めました。

森谷敏夫同窓会会長は、「我々の原点は、精神的にも肉体的にもいっばん伸びる二十歳前後の頃、まさしく中京大学で過ごした時間にあります。人生に多大な影響を与えてくれた母校のため、皆さんのさらなる「尽力を」と参加者に呼びかけました。また北川薫学長は、「卒業生の皆様のおかげで、中京大学はここまで発展してきました。元気で賢い中京大生が先輩方の後に続々と続いている」と会場を沸かせました。

懇親会では、当時の思い出を語り合う輪がいくつもでき、なごやかな時が流れました。

した。長崎県支部のアイデアでアトラクションもあり、マスクを早業で変えながら踊る中国伝統芸能「変臉(へんれん)」に大きな歓声が上がりました。

最後は全員が肩を組み、学歌を高らかに歌い閉幕。次回は二〇一五年九月、和歌山で開催予定です。

ところで今大会の運営にご協力いただいた妻鹿実長崎県支部長(七四体育卒)は、「最近は何年支部会で還暦を迎えた人をお祝いするようになりましたが、その一方で、若手の参加者を増やし、裾野を広げていきたい」と抱負を述べられました。

役員として初めて運営に携わった濱田豊貴さん(〇五体育卒)は、「同窓会は異業種交流の場であり、様々な人とパイプができた」と参加のメリットを実感。「今後は若手だけの交流会を開き、大学時代の思い出や近況報告をしながら結束を強めるなど、支部の裾野拡大に貢献したい」と力強い言葉をいただきました。



オーストラリア支部同窓会



二〇一四年三月十五日(土)、オーストラリア支部同窓会をシドニー市内の「れんが家(協力会員の井上義朗氏が経営)」にて開催しました。

会員・協力会員九名と大学からは梅村清英理事長ご夫妻はじめ五名にご出席いただきました。

同窓会の冒頭、オーストラリア支部から理事長就任のお祝いとして記念品が贈呈され、梅村理事長からお礼のご挨拶を賜りました。オーストラリア支部は理事長が立ち上げたと言っても過言ではないほどのご縁があり、その思い入れは想像を超えるものがあります。

同窓会は終始和やかな雰囲気で行われ、海外支部に相応しい協力体制が出来上がっていることを確認できた、嬉しいひとときとなりました。

北米三支部合同同窓会



開学六十周年を記念して八月二十四日、米国ラスベガス市内のホテルで「北米三支部(米国支部・米国東部支部・カナダ支部)合同同窓会」を約三十名の参加を得て盛大に開催しました。

大学からは梅村清英理事長、北本暢事務局長、大西博視校友会本部長、片岡武司校友会本部参与、刀根實経営戦略室秘書課長及び境賛三名誉教授がご出席。

最初に立川正孝米国支部長、林大輔カナダ支部長、大場邦明米国東部支部長から挨拶があり、梅村理事長からは大学の将来についてお話いただきました。

続く懇親会は、和気あいの内に進み、またたく間に終了時間をオーバー。海外支部の合同同窓会開催に向けて一層の団結と、支部の拡大を図ることを皆で誓い合い終了しました。

北海道支部同窓会



北海道支部同窓会では、活動の充実を目指して全道を五ブロックに分けて主な事業を実施することとなり、二〇一四年度は帯広市を会場にしました。

ファイギュアスケートの元キャプテンで、校友会本部の曾根美樹さんを講師にお迎えして開催したファイギュアスケート教室は、地元小中学生が大勢参加し、盛会裏に終了しました。

翌日は梅村杯ゴルフコンペ、懇親会を開催。母校から梅村清英学園理事長、北川薫学長をはじめ九名のご来賓に加え、初めて参加する同窓生も数名おり、大いに交流を深めることができました。

なお総会資料等は同窓会通信に同封させていただきましたので、ご理解のほど宜しくお願い致します。

(矢藤 良雄)

福島県支部同窓会



二〇一四年九月二十日(土)、郡山市内のホテルで「福島県支部同窓会」を開催しました。

梅村清英理事長、大西博視校友会本部長様はじめ十一名の大学関係者の皆様をご来賓に、まずは中京大学の紹介DVDを鑑賞。画面を通して見る母校の進歩は目覚ましく、総合大学として大きく発展していることに大変感動しました。

懇親会では、東北・北海道地区支部長や支部会員も駆けつけて、久しぶりの再会に会場内は熱気に溢れました。

皆で楽しいひとときを過ごした最後には、片岡武司校友會本部参与の音頭で学歌を声高らかに斉唱。中京大学及び同窓生の益々の発展を祈ってエールで締めくくり、終了しました。

(山内 光樹)

千葉県支部同窓会



二〇一四年十月十八日(土)、七年ぶりとなる「千葉県支部同窓会」を皆様のご協力により開催することができました。ありがとうございました。

当日は卒業間もない方から中京大学創設期の方々まで、幅広い世代の皆様にお集まりいただきました。

それぞれ昔の思い出話や最近の様子などを語り合い、お酒を飲みながら楽しい時間を過ごすことができました。

実は今回の同窓会開催について、多数の方からお問合せをいただきました。また当日、参加された皆様からも「県独自の同窓会をやりましょう」との声が多く上がりました。

次回はさらに盛大なイベントにしたいと思えます。ぜひお会いしましょう。

(猿田 明)

山梨県支部同窓会



二〇一四年十一月二十九日、甲府市ホテル談露館にて、中京大学同窓会から土方清顧問、校友会本部の皆様をはじめ大学関係者七名、中部地区八県の支部長にご参加いただき、「山梨県支部同窓会」を開催しました。

土方顧問のご挨拶の中で、日本経済新聞社による北陸・東海地区大学ブランドイメージ調査では一位が名大、二位金沢大、三位南山大、五位が中京大学と聞き、母校が魅力ある大学として幅広く支持されていることに胸の高まりを覚えたところです。

続いて大内敬哉同窓会参与の乾杯で宴が始まり、懐かしい恩師や同窓生とお酒を酌み交わしながら時の経つのを忘れ過ぎました。最後に全員で肩を組み、輪になり、学歌を斉唱し、盛会のうちに宴を閉じました。

(山下 正人)

静岡県支部静岡市地区同窓会



二〇一四年七月二十六日、恒例となった「静岡市地区会(清水区)」を行いました。

県支部役員の杉山仁夫氏が幹事となり、今年で四回目的開催となります。

今回は支部長・学校部会長はじめ二十一名が参集。支部長挨拶に続いて情報交換会では、卒業生の進路支援(企業・学校関係)の話題が中心となり、内容の濃い有意義なひとときを過ごすことができました。

懇親会では、参加者全員が一人ずつ近況報告と学生時代の思い出を熱く語りました。また今回は他地区から初めて参加した同窓生もあつて、集まった皆さんに喜んでいただき、会もひととき賑やかに盛り上がりました。

(橋本 美智夫)

岐阜高山・飛騨・白川支部同窓会



二〇一三年四月に中京大学校友会高山・飛騨・白川支部を設立し、二〇一四年五月十七日に第二回の総会を開催しました。

設立にあたり調べたところ、高山・飛騨・白川地区内に三百十名以上の同窓生が確認できており、第二回総会では三十名が集まり親睦を深めました。なかなかお会いする機会がない中で、多くの話をする事ができたのは非常に有意義なことでした。スキー部OBの上林さん(七一年体育学部卒)は、「このような流れを部の同窓生の中でも生かし親睦を図りたい」との思いを語られました。この飛騨の地で、より一層中京大学の輪を広げられるよう強く希望しています。最後になりましたが、遠方の校友会本部からのご参加、誠にありがとうございました。

(下畑 耕一)

愛知県尾張支部同窓会総会



二〇一四年度尾張支部同窓会総会及び懇親会が五月二十四日(土)、名古屋駅前百楽で行われました。

スポーツ科学部 渡邊丈真先生をはじめ六名の先生方にご臨席いただき、ますます発展していく大学の現状などをお話しいただきました。また三月で勇退された県立杏和高校吉田幸弘校長先生もお招きしました。

懇親会は年に一度、同窓の先輩とお近づきになれる機会であり、他校の先生方とも交流できる非常に有意義な場として、今後より多くの先生にご参加いただけるようお願いしました。また若い世代の先生方も自己紹介などを通じて溶け込み、大いに盛り上がりました。最後は恒例の学歌を斉唱。明日へのエネルギーを充電し散会しました。

(石黒 可妻)

愛知県西三河支部同窓会



二〇一四年七月五日、豊田市内のホテルで「愛知県西三河支部同窓会」が開催されました。毎年開催されるこの会ですが、今回は約三十名が出席。

中京大学からはスポーツ科学部の滝克己先生、來田享子先生、同窓会からは今井宏司顧問をはじめとする五名の皆様にご臨席いただきました。

同窓生は教員の皆さんが大半でしたが、一年ぶりの再会を喜び合うとともに、ふだん身近にいなながらも母校の発展に改めて驚嘆し、またお互い健康を大切にして頑張っていこうと誓い合うことができました。最後に学歌を高らかに歌い、来年の再会を約束して閉会となりました。

(伊澤 裕司)

愛知県知多支部同窓会



二〇一五年二月十日、半田市内の料理屋に約五十名が参集し、毎年のことながら「知多支部同窓会」が盛大に開催されました。

大学からは校友会本部の四名が出席しました。まずは大西校友會本部長から大学の現状と今期の入試状況について説明があり、発展する中京大学の姿について詳細が語られました。知多支部は教員を中心に活動を続けており、今や同窓会を支える主要な組織にまで成長しています。懇親会の席では終始、和気あいあいとしながらも、教育界の現状や課題、あるいは今後の支部活動について語り合う姿は熱気にあふれ、今後ますます期待が持てる組織となることが確信できました。

富山県支部同窓会



二〇一四年二月十六日、「長峰先生の全国優勝を祝う会」が富山県民会館で開催されました。

長峰俊之先生(七五年度体育学部卒)は本学卒業後、母校富山第一高校の教員となり、部長として三十年間サッカー部を率いてこられました。同年一月、国立競技場で開催された全国高校サッカー選手権大会では、チームを優勝へと導き、教員生活の最後を締めくくられました。

また当日は富山県支部より三十一名が参加。先生へのご祝辞、花束・記念品の贈呈に続き、大西博視校友會本部長の乾杯で歓談に移りました。途中、長峰先生の解説で決勝戦のビデオを鑑賞し、全員が優勝の感動を味わうことができました。また思い出話にも花が咲き、瞬く間に終わりの時間を迎えました。

(野田 智)

三重県支部同窓会



二〇一四年十二月十三日(土)、「三重県支部同窓会」が総勢百余名の参加者のもと開催されました。

中京大学から北川薫学長、梅村清英理事はじめ大学関係者、さらには近畿地区七県の支部長の皆様にもご参加いただき盛大な会となりました。

現在の大学の様子をDVDで拝見しましたが、立派な施設の数々に驚きを感じることも、こうした施設を使用して学べる今の学生たちを大変に羨ましく思いました。

参加者一同、今後の母校・中京大学の益々の発展を楽しみに、皆で学歌を斉唱し、別れを惜しみつつ終宴となりました。

(加古 昭次)

京都府京丹後市地区同窓会



「これからアルゼンチンに行ってきます、と言って丹後タンゴに來ましたが、まったく受けなかつた」と、京都出身の安村仁志副学長のユニークな挨拶で「第五回記念大会」が始まりました。

今回は昭和三十八年度卒業生を筆頭に、平成九年度の卒業生まで十九名が参加。年齢差はあるものの、過去五年間の活動を通して全員が顔見知りであり、皆、和気あいあいのムードの中、大変楽しいひとときを過ごすことができました。

初の女性来賓、校友会本部曾根美樹さんのみごとな活躍ぶりに皆大喜びでした。

締めくくりは校友会本部片岡武司参与の音頭で学歌にエール、大満足の宴!

(吉岡 淳一)

大阪府支部同窓会



二〇一四年十一月九日、新大阪ワシントンホテルプラザにて、三上肇教授・本田陽准教授・校友会大西博視本部長・曾根直樹課長をお迎えし、「平成二十六年大阪府支部同窓会」が開催されました。

本年度の議案として、前支部長の岡本博氏から中岡英彦への改選および、前年度の事業と会計報告が承認されました。

その後、開学六十周年の歴史と中京大学の紹介DVDを鑑賞。母校のさらなる発展を確信するとともに、続く懇親会では大学関係者を囲み、心温まるひとときを共有できました。

岡本前支部長の声かけによる再結成から三年を経過しましたが、今後も支部同窓会を毎年開催しますので、多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

(中岡 英彦)

兵庫県支部ゴルフコンペ



二〇一四年八月八日、台風の接近を目前に、空模様を気にしながら「第十回梅村杯兵庫県支部ゴルフコンペ」を西脇カントリークラブにて開催しました。

十回目となった今回はとくに腕前自慢の参加者が勢ぞろいし、熱い戦いを繰り広げました。結果は廣岡敏貴氏（六九年体育卒）が初の連覇を達成。

表彰式後の懇親会では、校友会大西博視本部長、片岡武司参与から母校の発展・現状を伺い、在学当時の様子をあれこれと…。懐かしい話は尽きず、いつしか台風のことなどすっかり忘れ、つい予定の終了時刻をオーバーしてしまいました。

この会を通して、さらに多くの県支部同窓生が集えることを願い散会しました。

（藤田 英明）

岡山県支部会・ゴルフコンペ



年に一回開催している「岡山県支部会」。二〇一四年二月十五日、津山市内の津山国際ホテルで行われました。

寒い季節でしたが、総勢四十名の同窓会員が大集合。母校の様子をビデオで見たあと懇親会に移り、大学職員や同窓生と楽しい時間を過ごしました。

翌十六日には、「第二回梅村杯ゴルフコンペ」が久米カントリークラブで行われました。

まさにゴルフ日和のおだやかな天気にも恵まれ、校友会本部から片岡武司参与と曾根直樹課長がご参加くださり、楽しくラウンドしました。

またこの年の冬は、ソチ五輪の後輩たちの活躍に大いに元氣と勇気もらい、心から感謝しています。

岡山県支部会・ゴルフコンペ



二〇一四年十月四日、瀬戸内市内のホテルで三十二名の参加を得て「岡山県支部同窓会」が開催されました。

校友会本部からは大西博視本部長、片岡武司参与、曾根直樹課長にご参加いただきました。

石川浩朗支部長の挨拶の後、大西本部長より大学の現状と将来計画についてお話しいただき、乾杯して懇親会に移りました。

懇親会では、参加者一人ひとりが近況報告を行うなど、皆で大いに語り合い、大盛況のうちを終了しました。

岡山県支部は、二〇一二年度は倉敷市、二〇一三年度は津山市で同窓会を開催し、岡山県内を順番にまわって組織の拡大強化に努めています。

鳥取県支部同窓会



二〇一四年十月二十五日（土）、「鳥取県支部同窓会」を県中部にある倉吉シティホテルで開催しました。

当日は、母校より八名の大学の先生方にご出席いただき、支部からは三十一名の同窓生が参集しました。

まずは土方顧問様のご挨拶のあと、大内参与様に乾杯の音頭を取っていただき懇親会が進行。終始なごやかな雰囲気の中、皆で旧交を温め、充実したひとときを過ごすことができました。

最後に竹内敏朗江府町長の閉会の挨拶のあと、全員で学歌を斉唱し、片岡参与様、田中敏夫同窓生の熱いエール交換で幕を閉じました。

次回、鳥取県支部同窓会での再会を心より祈って…。

（清水 寛）

香川県支部同窓会



二〇一四年十一月二十二日（土）、J.Rホテルクレメントにおいて、「香川県支部同窓会」が開催されました。

母校・中京大学からは、梅村清英理事長をはじめ九名の方々の参加を得て、近年、ますます成長著しい大学の近況を報告していただきました。

会員三十七名の参加のもと、躍進する母校の姿に驚きを覚えるとともに、どこか懐かしさも感じ、皆、旧交を温めながら昔話に大いに花を咲かせることができました。

本県での支部同窓会の開催は七年ぶりのこととなりましたが、今後も定期的な開催を望む声も聞かれ、盛会のうちに学歌斉唱で幕を閉じました。

（高橋 卓巳）

徳島県支部阿波踊り  
中京大学連



八月十三日、徳島の夏の風物詩「阿波踊り」に、この年も中京大学連が躍りこみました。

大西本部長、片岡参与をはじめ、校友会・学生たちが来県し、徳島の有名連「八千代連」との合同で、総勢百名の大部隊です。

昨年度は台風等の影響で雨の中の阿波踊りでしたが、本年は天候にも恵まれて大いに盛り上がる事ができました。また、県内同窓生も多く集まって一緒に踊りを楽しみました。

十一月には、中京大学卒業後、現在ミズノに勤務している市川華菜選手に来県していただき、陸上教室等も実施しました。

支部として大きな活動はできていませんが、同窓生それぞれに各分野で活躍しているのが当支部の自慢です。

(堀北 茂生)

高知県支部同窓会・ゴルフコンペ



二〇一四年五月三十一日(土)、高知市内のホテル高砂において「高知県支部総会懇親会」を開催しました。

中京大学からは開学六十周年の節目の年として、これまでの振り返りと、さらなる発展をめざした長期計画NEXT10への取り組みが説明されました。

そして翌日の六月一日には恒例の「梅村杯親睦ゴルフコンペ」を開催しました。

今回は五月に開催された日本女子シニアゴルフ選手権でみごと二年ぶり六度目の優勝を果たした、中京大学OGで本県中学校教員の三木逸子氏も参加。ダイナミックなプレーに魅了されながら、楽しい雰囲気の中にも充実したレベルの高いゴルフコンペとなりました。

(川島 祥嗣)

福岡県支部同窓会



二〇一四年九月十三日(土)、「福岡県支部同窓会」を西鉄グランドホテルにて開催しました。

大学からは安村仁志副学長をはじめ十名、九州・沖縄地区支部長八名、本県会員四十四名、総勢六十二名のご出席のもと中京談義に花が咲き、盛大な会となりました。

会に先立って大学紹介DVDが上映されると、参加者たちは皆、母校の目覚ましい発展ぶりに感激ひとしお。また安村副学長や高橋繁浩教授から現在の母校の状況等が詳しく報告され、これからの中京大学の展望が力強く語られました。

今後より一層、同窓生の皆さんと積極的に情報交換を行うことを誓い、次回同窓会へと結びつけていきたいと思えます。

(武尾 一三)

鹿児島県支部同窓会



二〇一四年十一月十五日(土)、「鹿児島県支部同窓会」を十五名参加のもと、鹿児島市内のホテルにて開催しました。

母校・中京大学からは片岡武司校友会本部参与、曾根美樹校友会本部員に遠路はるばる駆けつけていただきました。

今回、さまざまな行事と重なったことから、直前に欠席者が多く出てしまい、例年になく参加者の少ないイベントでした。しかし、継続は力なり。その言葉通り、毎年地道に同窓会を開催してきたその積み重ねから、鹿児島県支部の結束力を改めて垣間見た感がありました。

肥後支部長の手腕に感謝したいと思います。

愛知県学校部会総会



「二〇一四年度愛知県学校部会総会」を二〇一四年六月七日(土)、名古屋キャンパスで開催しました。

総会後の懇親会には、梅村清英理事長、北川薫学長はじめ十六名の来賓のご臨席を賜り、総勢百三十名を超える出席者らとともに、開学六十周年を迎えたわが中京大学で親睦を深めました。

さらに本年度新規採用された二十四名の後輩たちが、これから始まる教員人生への抱負を発表し、その熱い言葉に頼もしさを感じました。

前途洋々たる新たな会員とともに、一丸となつて本県教育界の一翼を担えるよう邁進していきたいと考えています。

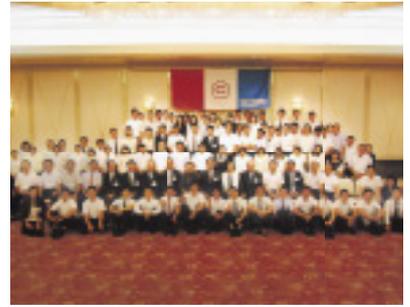
(鈴木 揚一)

八豊会総会



名古屋市内の小・中・特別支援学校に、教員として勤める同窓生らで組織する八豊会。その「総会・懇親会」を二〇一四年五月十六日(金)、中京大学名古屋キャンパスで開催しました。一昨年、設立二十周年を迎えた八豊会ですが、今回さらに十六名の新会員が加わり、現在、会員数は三百名を超えました。これにともない採用十年目までの青年部員も過半数を超え、「青年部の活性化」という課題について、総会で改めて確認したところです。また、引き続き行われた懇親会では参加者一同、積極的に意見交換しあい、校友会本部の皆様にも激励いただくなど、大変有意義な会となりました。

愛知県学校部会特別支援教育部会



二〇一四年九月六日(土)、名古屋市のルブラ王山にて、「愛知県特別支援教育部会総会・研修会・懇親会」が行われました。研修会では、中京大学現代社会学部教授の野口典子先生にご講演いただき、「特別支援教育」について、これまでとは違った視点で考えることのできた良い機会となりました。懇親会には梅村清英理事をはじめ野口典子教授、経営戦略室秘書課長刀根實様、校友会本部の皆様方と、お忙しい中、多数のご来賓の方々にご出席いただきました。また懇親会の中では、多数の会員の仲間と名刺交換を行い、会員相互に懇親を深めることができました。

中京挙母会



新春一月二十三日、名鉄トヨタホテルにおいて、「第二十七回中京挙母会」が開催されました。今年もご来賓として梅村清英理事長、太田稔彦豊田市長をはじめ、多くの方々よりご臨席を賜り、盛大に行われました。豊田市内の小中学校の教員で組織し、研修会など精力的に活動している本会ですが、こうした集まりを通し、教科や年齢の枠を超えて親睦を深めるとともに、中京挙母会が豊田市の教育の大きな柱になっていることを、改めて実感できる良い機会となりました。開学六十周年を迎えた母校とともに、節目の年となった昨年度の中京挙母会も盛会のうち幕を閉じました。

愛知県学校部会管理職・行政職懇親会



二〇一四年十一月一日、名古屋観光ホテルにて、「平成二十六年愛知県学校部会管理職・行政職懇親会」を梅村清英理事長、北川薫学長をはじめ十四名のご来賓をお迎えして盛大に開催しました。愛知県における学校部会の会員数はすでに千五百名を超え、そのうち管理職員・行政職員は百三十名超となっております。本県教育界の一翼を担うといっても過言ではない大きな組織となりましたが、今回はさらに公立私立学校から四十四名の同窓生も加わって、ますますパワーアップ。懇親会では今後の教育活動や目標を語り合いながら、校種を超えて絆を深め、母校のさらなる発展に胸を膨らませた素晴らしい会となりました。

愛知県学校部会公立高等学校部会



二〇一四年十二月二十七日(土)、名古屋市内のホテルで約六十五名の参加を得て開催されました。懇親会の前に大野芳樹愛知県教育委員会スポーツ課長の講演があり、皆さん熱心に聞き入っていました。懇親会では鈴木揚一豊野高校校長の挨拶の後、大野課長のお祝いのご挨拶、梅村理事長の大学の現状と将来計画のお話があつて、小瀧英一知立高校校長の音頭で乾杯し懇親に移りました。高校部会での懇親会等の開催は初めてでしたが、六十名を超す参加者に感謝の気持ちがあふれていました。皆、積極的に会場内を回り、意見交換の輪がそこかしこに見られました。今後は毎年開催し、「継続は力なり」を証明できると確信しています。

(神谷 真吾)

(石川 尚之)

愛知県学校部会ゴルフコンペ



二〇一四年八月十五日(金)、春日井市にあるオールドレイクゴルフ倶楽部において、恒例となった「愛知県学校部会ゴルフコンペ」が開催されました。

今回のコンペは、梅村清英理事長、北川薫学長をはじめ総勢三十七名の参加です。

まずはスタート前、全員にこやかな表情で記念写真を撮影すると、すぐに熱戦の火ぶたが切られました。

とりわけ大雨の多かった夏で、空模様を心配しながらのスタートでしたが、プレー中は一転。汗ばむほどの好天に恵まれ、二打一打、ボールの行方に一喜一憂しながらも、大学関係の方々と同窓会員がにぎやかに親睦を深めることができました。

(神谷 真吾)

静岡県学校部会



二〇一四年五月十七日(土)、「静岡県支部学校部会総会情報交換会」を静岡市内で開催しました。

総会では今後、母校の発展により一層協力していくことや、NEXT10の卒業生連携に向け、県内学校関係者の同窓生の把握、および学校部会の組織の拡充、そして二〇一五年度に本県で行われる「中部支部同窓会」への参加など、数々の議題を全員一致で確認しました。

総会後の情報交換会では参加者から近況報告があり、皆さん、さまざまな方面で活躍されていることを知り、大変うれしく思いました。

最後に、中京大学のさらなる発展と静岡県支部及び学校部会が充実していくことを心より祈念しています。

(柳本 雅弘)

石川県学校部会



二〇一四年十一月十五日(土)、「第十回石川県学校部会」が金沢市内のホテルにて、二部構成で開催されました。

一部では、「学校部会発足十周年記念事業」として、中京大学湯浅景元教授を招いて講演会を実施。県内教育関係者ら百名を超える参加者があり、大変参考になったと大好評を得ることができました。

二部の懇親会では、杯を酌み交わしながら、皆で和気あいあいと楽しみました。

また大西博視校友会本部長から中京大学の現状についてお話しいただき、ますます躍進を続ける母校の姿に喜びを感じ、最後は今後における会員相互の努力とさらなる絆を深めていくことを誓い終了しました。

(岩下 良)

北海道学校部会



本会は先輩諸氏から受け継がれてきた同窓の絆を大事に、総会・研修会ならびに懇親会を二〇一五年一月九日、札幌市内のホテルにて盛大に開催することができました。

北川学長をはじめ校友会本部役員の皆様方に、遠方よりご臨席いただきましたこと感謝申し上げます。

研修会では講師にスポーツ科学部学科長来田享子教授を招聘し、スポーツを取り巻く国際動向の視点から示唆に富む講演をいただきました。

懇親会では、杯を傾けながら大学の近況報告などを行い、和やかなうちに片岡参与のエールと学歌斉唱で終宴となりました。開催にあたり関係各位に御礼申し上げます。

(澤口 文裕)

空手道部創部五十五周年記念祝賀会



二〇一四年十一月三十日(日)、「空手道部創部五十五周年記念祝賀会」を名古屋キャンパスで開催しました。

空手道部は一九六一年に発足した本学体育会の中でも歴史あるクラブです。

当日は渡邊丈眞現部長をはじめOB・OG空手道部員の六十名が参加しました。

各地には関西地区OB会・九州地区OB会がすでに発足しており、今回の祝賀会は創部六十周年に向けて「OB・OG会の活性化」と「空手道部の発展」を期して開催したものです。

参加者一同、中京大学の発展を祈願する中、学歌斉唱で終宴しました。

中京ジュニアカップ体操競技・  
新体操交流大会



「第十八回中京ジュニアカップ  
交流大会」を二〇一四年三月に  
開催しました。

二〇一三年度は、体操競技、  
新体操いずれも中京大学豊田  
キャンパスで実施し、小学生か  
ら高校生まで、両競技合わせて  
四百三十九名の参加でした。

また、二〇一四年度は、「細井  
輝男先生の退官を慰労する  
会」、「スポーツ講演会」、「スベ  
シヤリストジャージ贈呈式」等の  
事業の開催と、西日本・全日本  
インカレの応援などを行いまし  
た。

昨年度は、新体操の大会をス  
カイホール豊田で開催、本年度  
は、第二十回記念大会として両  
競技の大会をスカイホール豊田  
で開催したいと思っています。

(野々部 利夫)

詩舞道部友の会



二〇一四年四月二十六日  
(土)、名古屋駅前の「くくる」  
にて「詩舞道部同窓会友の会」  
を開催しました。

本会は昭和四十九年度卒業  
生以降の会として発足したも  
ので、遠方では石川県など、全  
国各地から十九名の元詩舞道  
部員が集まりました。

幹事である第十五代大西博  
視より、友の会設立についての説  
明と開会の挨拶、第十四代長谷  
川浩の乾杯の発声で懇親会へと  
移りました。

久しぶりに吟志相集いて厳し  
かった練習、合宿での思い出話  
など、昔話に花が咲き大いに盛  
り上がりました。

次回の開催は八月の第四土曜  
として再会を約束。最後に全員  
で詩舞道部々詩を吟じ、中京大  
学学歌を合唱し閉会しました。

(大西 博視)

陸上競技部四十二年度卒同期会



二〇一四年五月九日、十一時に  
赤門に集合、「四十二年度卒同  
期会」に十三名が参加しました。  
初夏のような陽気の中、懐か  
しい陸上グラウンド、猛練習をし  
た興正寺の石段、恵明寮跡など、  
思い出におしゃべりの花を咲か  
せながら、緑萌えるキャンパスを  
散策できたことはこの上なく懐  
かしく、いい時間を過ごすことが  
できたと思います。

また、教室、図書館をはじめ  
新装となりました大学のキャン  
パスを案内していただきました  
が、その立派さには驚きとも  
に誇らしささえ覚えました。

学生のキャンパスライフの姿を  
見るにつけ、我々の学生時代と  
は隔世の感を覚えます。名実  
とも母校の大きな発展は、我々  
卒業生にとっても大変喜ばしい  
ことです。

(原 幸子)

体育学部三八会同窓会



恒例の三八会同窓会(体育  
学部昭和三十八年卒業生の  
会)が二〇一四年五月十一日  
(日)、鳥羽市内の鳥羽シーサイ  
ドホテルで約三十五名の参加を  
得て開催されました。

今回、三重県が当番県であ  
り、大西健一さんを中心に三重  
在住の卒業生の皆さんが結束  
して準備にあたられました。

恒例のゴルフコンペの後、夕方  
から懇親会を開催。出席者全  
員から近況報告等があり、皆で  
大いに盛り上がりました。

最後は全員肩を組んで学歌  
を斉唱、学生時代にタイムス  
リップしたかのようでした。

翌日は伊勢神宮を訪問し、  
御垣内参拝(内宮・外宮)を行っ  
て帰路へときました。

次回は福井県での開催が決  
定しています。

四十年年度卒同期会



中京大学「昭和四十年年度卒  
同期会」を九月十四、十五日に  
滋賀の長浜市で行いました。

九十四名に案内通知を出し  
返信は六十二名、そのうち出席  
者は二十三名でした。

近況報告の中には病氣と  
闘っている人、看護に追われてい  
る人、奥様からの死去報告など  
もあり、皆で回覧し、今日の健  
康と幸福に感謝しました。

頑張っている友人たちに心か  
らエールを送り、また次回お会  
いできることを祈りました。

黒田官兵衛の長浜城や黒壁  
周辺を散策、十五日の朝食後は  
「日本の真ん中パワースポット」  
の竹生島を船で訪ねました。

両日とも天候に恵まれ、楽し  
い時間を過ごすことができました。  
次回の開催地となる長野県  
は大平さんが幹事です。

(澤頭 英子)

美術部OBとしわ会



二〇一四年九月三十日～十月五日、「第十四回中京大学美術部OBとしわ会展」を名古屋市民ギャラリー栄で開催しました。会員二十五名のうち十二名と旧松阪女子短大OG一名、家族・知人二名、学園美術会最高顧問梅村清弘先生の計十六名の力作四十点を展示、六百四十余名の来場者を集めました。

十月四日(土)には親睦会を開催。十名が出席し、出品作の苦労話、大学時代の思い出話など大いに盛り上がりました。

第十五回展は、本年九月二十二日～二十七日まで同会場で開催予定です。ぜひ同窓生の皆様、あるいはご家族の方にも出展していただき親睦、交流を深めていきたいと希望しております。多くの皆様のご出展をお待ちしております。

(川窪 元雄)

自動車部OB会



二〇一四年十月十二日(日)、名古屋駅前ホテルで自動車部「創部五十周年を祝う会」を開催し、大学からは青森久部長(工学部)をご来賓として迎え盛大に行いました。

会は五年毎に行い、今回が第八回目。鈴木勇会長(一期創部者)の挨拶、鈴木卓生氏(三期)の乾杯から始まり同窓会のよいうな雰囲気の中、年代を超えた歓談で楽しい時を過ごし、最後は戸田貞典氏(三期)の音頭で部歌を歌い閉会しました。

現自動車部は五月二十八日、愛知県みよし市の三吉小学校児童を対象とした交通安全教室を運輸会社「カネヨシ」、愛知県トラック協会と合同で主催し、トラックを実際に走らせて巻き込み事故の様子を再現するなど啓蒙活動を行いました。

(西内 学)

体操部四十一年度卒同期会



体操部昭和四十一年度卒業生同級会「第八回トナ会 in 岐阜」を十月十五日から二泊三日の日程で開催しました。

今回も全国各地から十二名が名古屋キャンパスに参集。「古希」を迎えたこの年、三十八年ぶりに母校の赤門をくぐり感動はひとしおで、母校の発展の姿に驚くばかりでした。

瑞浪市から中津川、中山道と岐阜県全域を旅の舞台に、今回は母校体操競技部・新体操部同窓会長の小林章介氏、細井輝男教授らも特別参加。終始、近況報告や学生時代の思い出話に花を咲かせ、夜は合宿気分に入り大いに盛り上がりました。

皆が集える大切な条件は「健康」と「絆」だどつくづく感じました。次回の再会を誓い、それぞれの帰途を見送りました。

(市川 絃二)

体操競技部・新体操部四十三年度同期会



二〇一四年十月二十六日、二十七日に愛知県蒲郡市の「ホテル明山荘」にて、「第九回同期会」を参加十九名で行いました。

初日は、希望者で天下の奇祭「三谷祭海中渡御」を見学し、その後ホテルに集合しました。まずは温泉に入り、旅の疲れをじっくりほぐしてから宴会。三河湾で獲れた新鮮な海の幸づくしのおいしい料理を食べながらの会話が弾みました。

二日目は、竹島、海辺の文学記念館を散策し、蒲郡クラシックホテルでティータイム、その後、ラグーナテンボスで昼食とシヨックピングをしました。

今回は、中京大学見学を兼ね、猿投温泉ホテル金泉閣で開催予定です。

(野々部 利夫)

和歌山県OB・OGの集い



二〇一四年十一月二十二日(土)、和歌山県田辺市に於いて「中京大学OB・OGの集い」が開催されました。

参加者は総勢二十五名、六十代から二十代と幅広い卒業生たちが集い、世代を超えた交流が練り広げられました。

まずは乾杯の後、各自の自己紹介と近況報告を行いました。また大学紹介のDVDを鑑賞し、今日のわが母校の目覚ましい発展ぶりに参加者全員感動をおぼえながらも、皆、学生時代にタイムスリップしたかのようでした。

懇親会では、時を忘れて大いに盛り上がり、中京談義に花を咲かせました。

最後に、別れを惜しみつつ、次回の再会を誓い合い散会となりました。

(田和 昌大)



十二月十三日(土)、「書道部創部五十周年を祝う会」を名古屋キャンパスで開催し、同窓生百五十名と梅村清英理事長、榎本英信名誉教授をはじめ大学関係者が親睦を深めました。

佐藤隆代表世話人(文学部六九年度卒)の開会の辞、梅村理事長のご挨拶に続き、同窓生により榎本英信(樹邨)中京大学名誉教授・書道部名誉顧問に花束贈呈が行われました。榎本先生は「卒業後、皆さん各方面で活躍されており、数十年ぶりに再会した方も多し。今日は旧交を温め楽しんでもらいたい」と述べられました。

昭和四十年度の卒業生を筆頭に全国から集まった参加者は皆、大学の発展ぶりに驚き、また懇親会では互いに近況を報告しあい、旧交を温めることができました。

## 在校生支援

### 愛知県・名古屋市新任教員研修会

二〇一四年三月一日(土)、名古屋キャンパス・センタービルで愛知県・名古屋市立学校採用試験合格者(百十七名)の研修会・懇親会を開催しました。

第一部では、新任教員として現場で戸惑うことがないように、同窓会愛知県学校部会の管理職の方々が、その心構えや準備など詳細にお話しされました。

第二部では、会場を「イタリアントマト」に移して懇親会となりました。新任教員の方々は、研修会で聞くことができなかつたことを確かめ、新任教員同士で懇談するなど大いに盛り上がり、あつという間に時間が過ぎ閉会となりました。

### 愛知県教員採用試験面接・実技講習会

二〇一四年四月十九日(土)、教員採用試験対策として「第二十八回面接・実技講習会」を豊田キャンパスで実施しました。

これは教員志望の在学生を対象に、本学O.B.O.Gの教員が指導するもので、今回は六十八名が参加しました。

まずは「実技」と「面接」、それぞれ小グループに分かれて行われ、本番さながらにスーツに身を包んだ学生たちは、やや緊張した面持ちで臨みました。

現場経験豊富な先輩たちから直接ご指導いただいた学生たちは、教員採用試験に向けて改めて、強い気持ちを持つたようでした。

### 名古屋市教員採用試験学習会

二〇一四年五月二十四日(土)、名古屋キャンパス・センタービルにおいて、「名古屋市教員採用試験学習会」が開催されました。

これは名古屋市の小・中・特別支援学校教員で組織するO.B会(八豊会)の有志が集まり、教員志望者(三十三名)に名古屋市教員採用試験に向けての心構えや模擬記述試験、模擬面接の指導等を行うものです。

平成二十六年度に採用された卒業生から最新のアドバイスもあり、受験する卒業生・在学生は、先輩たちの話を真剣に聞き入っていました。

### 愛知県警察官採用試験面接講習会

愛知県警察官採用試験に合格し、二次試験を目指す学生たちを対象に「愛知県警察官採用試験面接講習会」が開催されました。

二〇一四年五月二十九日(木)、名古屋キャンパスに集まった参加者はスーツ姿に緊張した面持ちで講習会に臨みました。

問題集や参考書だけでは学ぶことのできない小論文や面接テクニック、近年の採用傾向や細かな注意点など、その道歩んだ先輩たちの的確なアドバイスを耳を傾けていました。

### 課外活動奨励賞授与式



二〇一四年度の「同窓会課外活動奨励賞授与式」が、五月二十三日(金)と十二月十九日(金)に、豊田キャンパスで開催されました。

この賞は、課外活動で優秀な成績を挙げた学生及び団体を表彰することにより、課外活動の高揚を目的として二〇〇四年四月に制定されたものです。毎年、上半期(四月～十月分)を十二月、下半期(十一月～三月分)を五月に表彰しています。

今回は二〇一三年下半期が体育会の個人十一名と四団体、二〇一四年上半期が個人五十七名と二十四団体で、授与式には学生と所属団体の部長監督が出席し、賞状と奨励金が授与されました。今後とも大いに活躍され、母校の発展に貢献されますことを期待します。

支部同窓会開催予定(二〇一五～二〇二二年度)

地区	県名	会員数 (住所判明者)	年度(西暦)						
			15	16	17	18	19	20	21
北海道東北⑦	北海道	525							
	青森	124	●						
	岩手	122		★					
	宮城	124		●					
	秋田	138				●			
	山形	115			●				
	福島	140							●
	関東⑦	茨城	241		●			★	
	栃木	180				●			
	群馬	286						●	
	埼玉	366					●		
	千葉	412						●	
	東京	604			●				
	神奈川	515	●						
中部⑧	新潟	529						●	
	富山	1,569			●				
	石川	1,445				●			
	福井	1,228				★			
	山梨	245						●	
	長野	1,608					●		
	岐阜	7,287		●					
	静岡	4,550	●						

※各都道府県支部同窓会は、7年に1度の開催になります。

●…地区支部長会 ★…全国同窓会(国体開催県)

地区	県名	会員数 (住所判明者)	年度(西暦)						
			15	16	17	18	19	20	21
近畿⑦	三重	6,302							★
	滋賀	1,419					●		
	京都	933	●						●
	大阪	1,221		●					
	兵庫	2,110				●			
	奈良	445			●				
	和歌山	809	★					●	
	中国四国⑨	鳥取	415						●
	島根	522						●	
	岡山	965					●		
	広島	1,172	●						
	山口	530		●					
	徳島	776			●				
	香川	774						●	
	愛媛	670			★		●		
	高知	532				●			
九州沖縄⑧	福岡	546						●	
	佐賀	202	●						
	長崎	265					●		
	熊本	207				●			
	大分	287						●	
	宮崎	296		●					
	鹿児島	374			●			★	
	沖縄	348						●	

二〇一五年度  
同窓会開催予定(校友会本部共催分)

支部	開催日	開催地	会場	住所	電話番号
青森県	10月24日	青森市	ホテルクラウンパレス青森	〒030-0802 青森市本町5-5-4	017-775-1151
神奈川県	10月17日	横浜市	新横浜プリンスホテル	〒222-8533 横浜市港北区新横浜3-4	045-471-1111
静岡県	11月21日	静岡市	静岡グランドホテル中島屋	〒420-0852 静岡市葵区紺屋町3-10	054-253-1151
京都府	11月28日	(土) 京都市	リーガロイヤルホテル京都	〒600-8237 京都市下京区東堀川通り塩小路下ル松明町1番地	075-341-1121
広島県	11月 7日	広島市	ホテルグランヴィア広島	〒732-0822 広島市南区松原町1-5	082-262-1111
佐賀県	9月12日	佐賀市	ホテルニューオータニ佐賀	〒840-0047 佐賀市与賀町1-2	0952-23-1111
福井県	12月 5日	福井市	ホテルフジタ福井	〒910-0005 福井市大手3-12-20	0776-27-8811
全国同窓会 (和歌山県)	9月26日	(土) 和歌山市	ホテルグランヴィア和歌山	〒640-8342 和歌山市友田町5丁目18番地	073-425-3333

二〇一三年度  
中京大学同窓会 決算報告書

収入		支出	
前期繰越金	49,748,453円	支部同窓会開催費	23,511,484円
会費	177,225,000円	全国支部総会費	2,035,929円
支部同窓会参加費	1,604,000円	ホームカミングデー開催費	4,082,402円
全国同窓会参加費	134,000円	会報発行費	15,914,442円
名刺交換会参加費	2,019,000円	通信費	25,908,107円
中京大学UCSカード販売協力金	291,171円	広告費	30,000円
受取利息	29,542円	奨学費	42,160,000円
準備金からの繰り入れ	30,000,000円	課外活動奨励賞	7,400,000円
預金(振込手数料)	7,070円	課外活動援助費	2,270,000円
その他収入	3,969,297円	記念品等作製費	16,334,013円
戻入金	256,630円	各会開催費	16,466,029円
<b>合計</b>	<b>265,284,163円</b>	<b>合計</b>	<b>265,284,163円</b>

# セミナーハウス 風光明媚なリゾート地に佇む、ゲストハウスをぜひ学生気分です。

## マウントビュー 蓼科

南・北アルプスと八ヶ岳連峰の雄大なパノラマを望み、36,000平方メートルの広大な敷地に佇むのが「マウントビュー蓼科」。標高1,500メートルの高台にあり、周囲は白樺林に囲まれた閑静な別荘地。森の中で野生動物と出会ったり、星空を眺めたり。大自然と戯れ、澄んだ空気を深呼吸すれば、心からリラックスできることでしょう。館内にはサウナ付きの大浴場、さらにはテニスコートなど屋外施設も充実。お食事は季節の食材をふんだんにあしらった、和食中心のメニューをお楽しみいただけます。

〒391-0213 長野県茅野市豊平字東嶽4734-2841  
TEL:0266-76-2588 FAX:0266-76-5539  
一泊2食(平日)8,000円～



## レイクビュー 白馬

信州・白馬山麓に位置する神秘的な青木湖眼下に望むセミナーハウスが、「レイクビュー白馬」です。標高900メートルに位置し、冬は目の前にあるファミリーゲレンデでウィンタースポーツを満喫。また八方、梅池、立山アルペンルートなどのトレッキングや青木湖でのフィッシング、安曇野周辺的美術館めぐりなど、スポーツからレジャーまで、オールシーズン楽しめる休日の拠点として気軽にご利用いただけます。夕食は地元の食材をアレンジした、洋食のフルコースをたっぷりご堪能ください。

〒398-0001 長野県大町市大字平エビスマ23370  
TEL:0261-21-4500 FAX:0261-21-4510  
一泊2食(平日)8,100円～



# 名古屋キャンパス内

放送大学 / 通信制大学の、バックアップ拠点として。

テレビやラジオによる講義を視聴し、マイペースで学びながら大学卒業資格を得られる通信制大学が「放送大学」です。本学センタービル4階にある「愛知学習センター」は、その北陸・東海地区における拠点で、メディアを介した一方向の授業に偏らないよう、スクーリングによる面接授業を実施しています。現在、学部学生、大学院生合わせて3,000余名が在籍していますが、向上心あふれる社会人学生を支え、人間交流をサポートするのも本学の大切な役割と考えています。



オープンカレッジ / 学びの機会、学ぶ喜びをより多くの方に。

中京大学では、一般の人々が参加できる生涯教育の場として、春期・秋期と「オープンカレッジ」を開講。文学、ビジネス、スポーツ、芸術など、多分野にわたる講座を開いています。語学学習などはとくに、個々のレベルに応じて選択できる上、開講時間も午前・午後・夜間と利用しやすいよう配慮。より多くの方々の生涯学習への旺盛な意欲をサポートしています。



## 個人情報保護法への対応について

### 〔基本方針〕

- 校友会本部における個人情報の取扱いは、次の方針で行います。
- ①利用目的をできる限り特定し、必要な範囲に限って個人情報を取得します。
  - ②利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて個人情報を利用します。
  - ③取得した個人情報は、本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。
  - ④情報セキュリティ対策をはじめ、個人情報の紛失、漏えい等の予防に努めます。
  - ⑤外部への業務委託については、個人情報の保護に関する契約の締結及び委託先に対する監督を行い、情報の管理に努めます。
  - ⑥本人から個人情報の開示・訂正等の請求がなされた場合は、その請求を尊重して対応します。

### 〔具体的方針〕

- ①会員データの利用目的は、会則に定める「会員相互の親睦を図り、中京大学の発展に寄与すること」に必要な各種案内や刊行物の発送に限り、それ以外の目的には利用しません。

- ②校友会本部が管理する個人情報のうち、「会員ナンバー、卒業年度、学科、氏名、住所、電話番号、勤務先名、職名、勤務先電話番号」を各県支部長(部会長)及び各OB会長に提供します。ただし、提供するデータは各所属会員のものに限りです。  
※この場合の各県支部長(部会長)・各OB会長は、(法21条に定める)校友会本部の従業者と該当します。
- ③個人情報は校友会本部が一元管理し、従業者が個人情報を適正に管理するよう監督します。
- ④従業者以外の方には、個人情報を提供しません。(同窓会名簿は発刊しません。)
- ⑤第三者が情報の提供を求めてきたときは、校友会本部がその用件を本人に取り次ぎます。(本人が必要と判断した場合は、本人から相手方に連絡をとっていただきます。)
- ⑥本人から個人情報について削除の請求がなされたときは、その請求を尊重して対応します。

※個人情報の削除を希望される方は、校友会本部へご連絡ください。所定の手続きの後、データを削除いたします。ただし、削除後は中京大学広報や同窓会通信等の刊行物及び同窓会やホームカミングデー等の開催案内が一切届かなくなりますのでご承知おきください。

## 編集 後記

「同窓会通信第33号」をお届けいたします。今回の第33号では、開学60周年が次の70周年に向けたリスタートの年になりますので、「次の10年へ一歩踏み出す、中京大学の誇り」をテーマに構成しました。

また同窓会では、各都道府県支部同窓会、地域または職域の同窓会、全国同窓会、ホームカミングデー、名刺交換会など多くのイベントを実施しております。是非これらの会にご参加いただき、新たな人との出会い、旧知の方との絆を大事にしていだければと思います。

「同窓会通信」は、大学と同窓生、同窓生同士を結ぶツールであり、多くの方々に読んでいただきたいと思い作成しております。

最後に、本号の制作にあたり忙しい中ご協力いただきました多くの方々に厚くお礼申し上げます。 校友会本部 同窓会通信編集担当



## 中京大学同窓会の会員証とUCSカードが一体化!

「中京大学 UCSカード」は中京大学同窓会の会員証としてのみならずクレジットカードとしても国内・海外で幅広くご利用いただけます。さらにUCSが提供するうれしい特典が満載のカードです。

### 校友会のカードとして

中京大学UCSカード会員のショッピング  
ご利用金額の一部が**同窓会へ寄付**され、  
奨学金として有効に活用されます。

### アピタ・ピアゴ・ユーホームでおトク!

全額UCSカードでのお支払いで  
会員様**5%OFF**感謝デー



アピタ・ユーホーム 毎月19・20日



ピアゴ 毎週金曜日



※衣料品・食料品・暮らしの品が5%OFFとなります。  
(一部商品は除きます)  
※専門店に関しては、各専門店にてご確認ください。  
※一部のユーホーム店舗では毎週金曜日の開催となります。

### 使えばおトクが貯まる「Uポイント」

## Uポイント

プログラム



UCSカードでのお買い物に応じてポイントが貯まって、商品との交換ができる特典です。

#### ポイント有効期限は最長2年

ご利用200円ごとに1点の  
ポイントが貯まります。  
ポイント有効期限内にさらなる  
ポイントアップを目指してください。



#### 選べる7つの商品

ポイント有効期限内ならいつでも商品と交換いただけます。

- ◎ユニグループ商品券
- ◎図書カード
- ◎ギフトカード
- ◎JALマイレージバンク
- ◎(財)日本ユニセフ協会への寄付
- ◎日本赤十字社への寄付
- ◎ユニコ電子マネー

#### 商品との換算表

点数	交換商品
1,000点	1,000円
2,000点	2,000円
3,000点	3,000円
4,000点	4,000円
5,000点	5,000円
6,000点	6,000円

※以降も1,000点ごとに1,000円分の商品券等と交換できます。

### UCSカードは安心して、ご利用いただけます。

#### カード盗難保障

万一、紛失・盗難にあわれても、紛失のお届け日より60日前からの不正利用を本人会員様・家族会員様ともに保障いたします。詳しくはカード送付時に同封のUCSカード盗難保障制度規約をご確認ください。

無料で  
おつけて  
おります。

#### ショッピング安心保険

UCSカードでご決済・ご購入いただいた商品の、破損・盗難・火災による損害を商品購入日より90日間補償いたします。  
(1品1事故購入価格5,000円～100万円・免責3,000円)  
※一部補償の対象とならない事故・商品(食品、眼鏡、自転車、携帯電子機器等)がございます。

保険料  
無料

※各サービスの詳細な内容や、ご利用方法については、カード送付時に同封の「UCSカードご利用ガイド」をご覧ください。

### その他にも中京大学UCSカードにはおトクがいっぱい!

#### ① 宇佐美直営店での会員特典 この看板が目印!

・ガソリン  
・軽油  
・灯油  
(燃料油) **2円/ℓ引き**

・タイヤ  
・オイル  
・バッテリー等  
・カーケア商品  
(燃料油以外) **5%OFF**



※宇佐美鉱油の店舗には直営店と代行店があり、割引サービスは直営店のみ対象となります。  
※灯油は店頭販売のみ2円/ℓ引きとなります。配達灯油に関しては各店舗にてご確認ください。  
※消費税、金券、非課税商品等は割引の対象外となります。※やむを得ない理由により内容が変更・中止となる場合がございます。※店舗によりお取扱いのない商品もございます。

#### ② パックツアーUポイント5倍サービス

[トットラベル・パックツアー予約センター]または[シティアーズ電話予約センター]へパックツアーのご予約をお申込みいただき、「UCSカード」でお支払いいただくと、

ご旅行代金  
(基本旅行代金・各種追加代金)の **Uポイントが5倍** になります。

※本サービスは2015年2月現在のものです。予告なくサービスの変更・中止をさせていただきます。

## 入会金・年会費無料!

お問い合わせは

中京大学校友会本部  
(同窓会・教育後援会事務局)

TEL 052-835-7111(大学代表)  
TEL 052-835-7140(校友会本部)

FAX 052-835-6069

〒466-8666 中京大学URL

名古屋市長和区八事本町101-2  
http://www.chukyo-u.ac.jp

校友会本部e-mail koyu@mng.chukyo-u.ac.jp